滿洲日報　夕刊　三月四日



# 政府は財政破綻を地方に轉嫁す

## 長岡隆一郎氏が減税案を論難　貴族院本會議（四日）

【東京四日發】四日の貴族院本會議は午前十時十六分開會、徳川議長議長席に着き諸般の報告あつて二十四分開議日程を變更し所謂減税案即ち

一、地租法案
一、營業收益税法中改正法律案
一、砂糖消費税法中改正法律案
一、織物消費税法中改正法律案
一、明治四十一年法律第三十七號中改正法律案
一、大正十五年法律第二十四號中改正法律案
一、都市計畫法中改正法律案（政府提出衆議院送附）第一讀會

を一括上程し井上、安達兩相より提案理由を詳細に説明す、十時四十六分説明が終り質問に入り先づ先陣を承つて貴院の花形

長岡隆一郎氏（交友）

（寫眞）長岡隆一郎氏

第一　に政府は財政の破綻を地方財政に轉嫁し、このため地方財政は自然に膨脹し地方の疲弊は實に甚だしきものあるに至つた政府は將來も斯くの如き方針で進む積りであるか

第二　に今回の地租法案によつて大都市が甚だしき増税となるが政府はこれを如何に見るか　六大都市における本案による増税は百八十萬圓であつてこれに地租附加税を加へれば東京市が六百四十萬圓となり一戸當り十四圓六十錢、大阪市が五百十八萬圓、京都市が百二十四萬圓、神戸市が百二十二萬圓、名古屋市が百六十二萬圓、横濱市が八十一萬圓計千六百五十二萬圓といふ大増税となるのである、かゝる大増税を敢行しながら僅かばかりの營業收益税を減らして見たとて何になるか、國民はこの減税案によつて減税されるものと信じてゐたが、現實は全然反對である、而してこの増税は地主の負擔の大増加となり延いて借地料の値上となつて**借家料の値上となつて借地人、借家人に轉嫁**されるのである、實に驚き入つた減税である、又農村においては僅か一歩八厘の減税に過ぎぬ、以て農村に對する政府の態度の冷淡さを知るべきである

第三　に今回の減税案は地方財政を甚だしく困難に陥れるものである、私の見るところではこれによつて増税されるものは十府縣で千二百萬圓、減税になるのは三十四府縣千百餘萬圓である（とて詳細數字を擧げ）これが結果として、一方においては減税となるかも知れぬが地方財政としては教育費等の關係でどうしても不足となり戸數割の増徴となるのであるか、ゝる大増税を敢行しながら僅かばかりの營業收益税を減らして見たとて何になるか、國民はこの減税案によつて減税されるものと信じてゐたが、

第四　に本案は甚だしく非社會政策的である、府縣營業税に於て九十餘萬圓、市町村に於て六十餘萬圓を減税する財源はどこに在るか、地方税の方面においては六年度の當初豫算は五年度當初豫算に比し二千七百二十三萬圓だけ増加してゐる、かゝる場合に一體どこにこの減税の財源があるのか、結局これは中産階級以下細民に轉嫁させる外はない而して一ヶ年純益四百圓以上の者のみが減税されそれ以下の者は依然として府縣税において多大の負擔をせねばならぬといふ矛盾を生ずる、これでも社會政策に反せぬと信ずるか

第五　は立法上の問題である、法人にして四百圓の營業收益があつた者は從來附加税を加へて八圓八十錢の税を納めれば良かつたのが今回の改正により十四圓八十七錢を納めればならぬ者を生ずるといふ立法上の矛盾がある、なほ營業收益税の免税點を六百圓なり七百圓なりに引上ぐべきであるにかゝはらずこれを實行せざりしは三十萬乃至三十五萬人の税が地方税に委讓される結果になるではないか

第六　は直接税と間接税との按配が宜しきを得てゐない點である（とて砂糖消費税、煙草税、酒税等について詳細に論じ）

第七　に減税による都市計畫實施の財源缺陷を如何にして補塡するか、又都市計畫に關する本院に對する公約を如何にするか、政府は地方税で補塡するといつたが日本橋の修繕の金を秩父の山から持つて來るなどは出來ることではない、五年前政府は都市計畫の財源の根本的改正をなす旨本院に公約したが、今日それについて何等の根本的提案をなさぬ、又都市計畫の財源は如何にして補塡するか

第八　は減税の財源である、政府は財源は確實だといふが私は藏相の言を信ずることは出來ぬ、減税を斷行するには如何にしても苛斂誅求は已むを得ないと信ずる、海軍の補充計畫には第二次補充計畫もあるのであるから結局後年度においては減税どころか増税せねばなるまい、政府は何故行財政の整理をやつた上で減税案を出さなかつたか、政府には本案を撤回するか又は一年延期する意志はないか、この際明瞭な答辯を伺ひたい

これにて先づ質問を打切り零時十二分休憩となる

# 政府重要案の運命

## 審議が捗らず氣遣はる

【東京四日發】會期既に三分二を經過した貴衆兩院の議事進行狀態は頗る遲々たるもので今日までに兩院を通過した政府案は僅か郵便法中改正法案、鐵道船舶郵便法中改正法律案の二件に過ぎず、豫算案は衆議院にて五日間の遲延を見た上貴族院にても漸く十二、三日頃には本會議に上程最後の決定をなし本月半を以て兩院を通過し得る見込みが立つに至つたが、豫算案に次ぐ重要案たる減税案は衆議院にて野黨の引延ばしに會ひ四日漸く貴族院に上程さるゝに至つた程で、殊に二十七名の特別委員は研究會の提案奏功し委員選任となり、從つて研究、交友の反政府系によつて多數を占めらるべく早くも本案は審議未了の運命に終りはせぬかと氣遣はれてゐる、更に米穀法案は五日衆議院を通過即日貴族院に回附するとしても前途樂觀し難く小作法、勞働組合法案は今なほ衆議院の手を離れず本月半頃貴院に回附されるとしても到底通過の見込み立たず會期切迫せる昨今政府提出の重要法案の運命氣遣はるゝに至つた

## 朝野協調し議事進行　あすの衆議院

【東京四日發】四日特に本會議を開くや否やについて與黨と野黨との間に意見の相違を來し各派交渉會も遂に物分れとなつたが議長、副議長の斡旋により午後十時半漸く野黨の希望を容れ四日は本會議を開かず五日本會議を開き

一、米穀法案を劈頭上程してこれを議了すること
二、次で三日の殘餘日程を議了すること
三、右終つて議員提出案の審議に移ること

を決定した

# 約法制定と胡漢民監禁

現南京政權は言はゞ浙江財閥と廣東財閥との寄合世帶である、廣東派を代表する胡漢民氏は浙江派を代表する蔣介石氏の女房役として、現南京政權を築き上げて來たのであるが、糟糠の妻といふ情婦が出來て、嫌味增女と云ふ情婦が出來て、蔣さん改組派は嫌味噌臭ひ……蔣さん改組派の女房胡漢民氏を座敷牢に監禁してしまつた。曩には今の夫人宋美齡女史と結婚するために、連れ添つて來た女房を離縁したほどの蔣さんとして、敢て奇とするに足らぬことかも知れぬが、さても水性な蔣さんではある。が、しかし、よく泳ぐものは溺れ、女たらしは女ひでりに喘つことも、ある。蔣さんたるもの顧みるところありやなしや。

◇

南京政府は去秋反蔣軍討伐終結とゝもに、約法制定と國民會議召集を國民に公約したが、約法制定と國民會議召集は去夏北平で反蔣の氣勢を擧げた擴大會議の提起せる政綱の主要項目であつた。戰勝者たる南京政權は戰争終了とゝもに戰敗者たる北方政權の掲げてゐた政綱を直に踏襲し、洒々然として之を國民に誇示した。戰敗者擴大會議の主流たる改組派の連中は、南京政權のこの矛盾せる行動を見て、自分に弓引いた改組派と馴れ合を始め、元來改組派の政綱であつた約法制定、國民會議召集を遂行するため胡漢民氏を監禁した。改組派はまさしく「戰争には負けたが、主張に於て勝ちつゝある」

◇

約法と憲法の差異限界如何と言ふやうな法理には迂濶にも不案内であるが、制定の手續形式に差異はあつても、ともに國民の權利義務を規定し、その生命財産の安全を保障する根本大法たることに於ては變りないものと諒解される。しかしてかくの如き約法制定を主張しつゝ、同時に同僚監禁を敢てする蔣氏の行動はあまりにも武斷專行に過ぎるの咎を避けることは出來まい何人にもかくの如き武斷專行が出來ないように、且つ何人もかくの如き武斷專行の害を蒙ることなきよう爲に、制定さるべき約法に外ならぬではないか。それとも蔣氏は約法が制定されたらこんな武斷專行もやり惡いから約法制定までに思ひ殘すことなからしめるためにやつたとでも言ふのか。

◇

一方に於て蔣氏のかくの如き手並を拜見しながら、一方に於て同じ蔣氏の口から「國民の生命財産の安全を保障する約法の制定は和平統一の鍵鑰である」と聞かされること、鬼の念佛を聞くにも似て、氣味惡くもあり滑稽の至りでもあり。……さりながら政綱政策を以て對立拮抗することこそ政黨政治の本義なりと空言吐いて、匕首、鐵拳亂舞し、血肉横飛する議會を持つ國もある。中華民國以て瞑すべきか。（飛公）

# 入營者に對する職業保障法

## 四月から實施の意嚮

【東京四日發】入營者職業保障法案の實施期は勅令で定めることゝなつてゐるが陸軍省としては輜重輸卒及勤務演習等の關係から四月一日から實施したい意向である

## 米穀法案討論者

【東京四日發】五日の衆議院本會議に上程の米穀法案に對し政民兩黨の贊否討論者は左の六氏に決定した

▲民政黨　村上國吉、田中養達、關矢孫一
▲政友會　東武實、胎中楠右衛門、松山常次郎

## 勞働者災害扶助關係法案提出

【東京四日發】四日政府は左の案を衆議院に提出した

一、勞働者災害扶助法案
一、勞働者災害扶助責任保險法案
一、勞働者災害扶助責任保險特別會計法案

# 追加豫算と政友の攻撃陣容

## あすの衆院豫算總會

【東京四日發】明年度一般特別兩會計追加豫算は三日衆議院に提出され五日豫算總會を開き審議さるゝ事となつたが政友會は大口喜六、山崎達之輔、太田正孝、山口義一氏等を起て左の如き疑義につき追究する方針である

一、歳入において計上歳入部に未だ議會を通過せず目下審議中の法律の結果生ずると思はれる收入を見積つてゐることは實に驚くべきことで斯かる不確實な歳入を見積ることは出來ぬ

一、歳出においては失業救濟事業工廠職工解雇手當て失業船員救濟等につきその結果を重大視し殊に臺灣理蕃費の如きは政府が從來の理蕃政策を誤つた結果今回の霧社事件を惹き起した事實を認めた故に追加豫算を請求するに至つたものとして總督並に拓相の責任を改めて追究する豫定で更に大阪に帝大を設立せんとする案に對しては財界不況の今日綜合大學を創立する必要なく全く黨略に過ぎぬとして攻撃を開始する筈

## 追加豫算提出

【東京四日發】政府は三日午後衆議院に昭和六年度歳入歳出總豫算追加第一號を提出した、内容は既報の如くである

# 勞働者災害扶助法制定目的

## 政府、今議會に提出

【東京四日發】政府が議會に提出する事となつた勞働者災害扶助法案は土石採取、土木建築、交通運輸、貨物積降しその他危險なる事業に從事する勞働者の業務上の負傷疾病又は死亡に對し一定の扶助を與へんとするもので右の内土木建築業については政府との間に保險契約を締結する事になつてゐる本法案と共に提出される勞働者災害扶助責任保險法案はこれを規定したもので扶助料支給の確保及事業上の負擔の便宜を目的として ゐる

# 内蒙古で一千萬町歩の大牧場を經營する

## 大倉喜七郎男の抱負

【下關特電四日發】さきに本溪湖煤鐵公司總會列席のため渡滿した大倉喜七郎男は三日朝鮮經由連絡船にて下關着、香港丸に乘り換へ神戸へ向つたが往訪の記者に語る

今私が經營してゐる水田事業も餘り面白くないので中止しやうかと思つてゐるその代りに内蒙古地方の大平原約一千萬町歩を開拓して大牧場を經營しやうと目下その具體案について講究してゐるが、何分今のところは試驗中にありこれが成績如何によつては斷然完成の肚だけは決めてゐる【寫眞は大倉男】

# 東支鐵道に關する細目協定案を協議

## 莫、劉兩氏を中心に

【ハルビン特電三日發】莫德惠氏は四日奉天を發ち五日歸哈する劉澤榮氏と會見、東支鐵道の細目協定に對するロシアの態度につき劉氏の意見を聽き協議し再入露する意嚮で協定については樂觀さる、なほ莫氏は入露前東支鐵道一九三一年度豫算、人事行政、露支職譯科の創設等の重要案を可決する筈

莫全權は東鐵問題については南京政府の内命により買收案についての財産評價を先づ劈頭に決定する意嚮である、

## 露、支兩國の主張

支那側は露支及奉露協定による財産權の折半をも主張する用意ありといふがソウエートとしては東鐵の財産はソウエート政府の投資物件で折半の性質を有してゐないと解釋しこの爭點の解決は相當困難なものあり、東鐵敷設の際支那政府が出資した株式となつてゐる庫平五百萬兩及その後の利子に關するソウエート政府の保證を得ることも實際に投資してゐないのであるから果してソウエートが舊條約の諸株式的支那の資本を承認し東支財産權の一部としてこれを解決するかどうか、恐らく實質力なきものと一蹴するだらうからこれまた交渉上の難關とされてゐる

# 滿鐵の諸設備を視察に來た

## 津浦鐵路幹部三氏談

四日奉天より來連の筈であつた津浦鐵路委員長陳延卿氏は張學良氏の招待會に出席することゝなり豫定を變更五日八時大連着急行にて來連する事となつたが陳委員長に先立ち津浦鐵濟南機廠々長曾廣習、管理局機務處々長楊毅、津浦鐵工場技師許瑞芬の三氏は滿鐵々道工場久保田技師の案内にて四日八時着急行列車にて來連直にヤマトホテルに入つた、一行を車中に訪へば交々語る

陳委員長は新任挨拶をかねてゐますが私達は滿鐵の經營法總てを見ることを主要な目的にしてゐます流石に滿鐵線は設備、サービス等總てが完備してゐると感心しました、津浦線も戰亂の惨禍から逃れてからは漸く營業も順調となり目下月平均三十萬

# 茶壺

◇…體軀小なりと雖も、強つ氣で有名な小川滿鐵販賣部次長も、この冬は鐵暴落と業界不況に健康を度外視して奮闘したゝめ最近病氣勝だが「四月にでもなつて暇が出來れば少し休養されては」と記者がいへば「僕もさう考へてはゐるが忙しさと不景氣に負けて病氣になつたと思はれるのが業腹でれ」と相變らずの強つ氣振り

◇…この次長「一洲」と號して俳句を弄ぶ位で殆ど趣味はないが、唯一つの樂みは夫婦連れでの劍劇見物することで大連での劍劇は殆ど缺かさず見るといふ熱心さ「何が次長をさうさせたか」次長は語る

◇…あの善が勝ち惡は亡び、だらけた氣分は一つもなく快刀亂麻式に斬つてくく斬りまくり徹底的にやつゝける所が愉快だ、而もあのチョン髷時代のナンセンスさは實際頭の保養にもなるぢやないか

◇…思ふやうにならぬ社外炭の進出をあの千惠藏の劍のやうに斬りまくれたらと定めし次長は心に願つてゐることだらう【寫眞は小川氏】

# 印度鹽專賣法協調點發見

## 四日覺書に署名手續

【ニューデーリ三日發】二月十七日以來續行された印度總督アーウィン卿とガンジーとの會談は最難關たりし鹽專賣法問題に關し大體協調點が發見されたゝめ三日午後漸く解決に到達し四日正午覺書署名の手續を取ることゝなつた

# 佛領印度支那と通商交渉を開始

## フランスの希望條件

【パリー三日發】三日駐佛大使芳澤謙吉氏と佛領印度支那總督との間に日本と印度支那間の通商協約締結に關する交渉が開始されたが右交渉においてフランスは日本に對し西貢米に對する輸入禁止を解くと共に鴻基炭の輸入も引續き行はれたしと要求した

# 市豫算委員會けふの二重要案

## 相當議論沸騰を見ん

大連市豫算委員會續會は四日午後三時より開會、同日を以て審議終了を見る豫定であるが同日の委員會は經常部歳入

▲第七款市税の戸別割、不動産取得税附加税、特別税貸家税、特別税諸車使用税、特別税遊興税不動産に關する權利取得税、附加税及び臨時部歳入

▲第一款繰入金、第二款寄附金を審議後今日までに審議されたものゝ内意見書附、希望條件附で原案乃至參事會修正案可決或は留保された問題があるのでその審議に入る筈だが、財界、事業界の不況から戸別割が五年度より一萬六千六百九十六圓減の計上であり、また遊興税も五千圓減の計上であるとはいへ委員會では相當議論を見るものと豫想されてゐる、なほ第五十五回市會の議決を經て關東長官に提出さるべき大連市民の經濟狀態の現狀に顧み關東長官は諸税、借地料、水道料、電話使用料の輕減に關し特に考慮あらんことを望むの意見書案も諮られる筈である

# 滿鐵三課長異動

## 四日附にて正式發表

滿鐵總務部庶務課長の椅子は適任者が無いために空席となつてゐたが山西次長就任と共に事務の刷新を圖るべく庶務課長の專任を置くこととなり人選中の處、山西氏が地方部次長當時氏の片腕としてその才腕を認められてゐる新進の土肥地方部庶務課長を拔擢して据えることに決定し、これと同時に文書課長も亦上海事務所長の石本憲治氏を本社に呼び戻して据え總務部の陣容を整へることゝなつた、後任として地方部庶務課長に現文書課長岡田卓雄氏は土肥氏の後任として地方部庶務課長に廻ることゝなり四日附を以て左の通り發表された

| | |
|---|---|
| 總務部次長　兼庶務課長事務取扱 | 山西恒郎 |
| 兼務を免ず　地方部庶務課長 | 土肥顯 |
| 總務部庶務課長を命ず | |
| 總務部文書課長 | 岡田卓雄 |
| 地方部庶務課長を命ず | |
| 上海事務所長 | 石本憲治 |
| 總務部文書課長を命ず | |
| 上海事務所事務員 | 宮本通治 |
| 上海事務所長心得を命ず | |
| 總務部次長 | 山西恒郎 |
| 文書課長不在中事務取扱を命ず | |

尚上海事務所長後任は木村交渉部長歸任後決定する筈である、因に岡田文書課長が兼務してゐたタイプライター教習所長も石本新文書課長が引き繼ぎ兼務すると

## 三課長の略歴

▲土肥顯氏　明治廿九年生れ、大正九年東大政治科卒業直ちに滿鐵に入社、外事課、北京公所、吉林公所等を經十五年三月開原地方事務所長、昭和二年十一月長春地方事務所長となり五年六月地方部庶務課長に轉任今日に至る

▲石本憲治氏　明治廿二年生れ、大正四年東大法科卒業、九年滿鐵入社、歐米各國留學後文書課長代理、臨經委員兼監事、情報課長等を經五年六月上海事務所長に轉任今日に至る

▲岡田卓雄氏　明治廿八年生れ大正九年東大法科卒業後直ちに滿鐵入社、十年歐米各國留學、昭和二年五月文書課長代理、十一月東京支社詰五年六月文書課長に歴任今日に至る

# 大連醫院役員異動

滿鐵にては四日附社報を以て左の如く地方部次長の異動に伴ふ大連醫院理事並びに評議員の異動を發表した

財團法人大連醫院理事を命ず　武部治右衛門
財團法人大連醫院理事を免ず　山西恒郎
財團法人大連醫院評議員を委囑す　武部治右衛門
財團法人大連醫院評議員を解囑す　山西恒郎

元（大洋）程度の利益をあげてゐますし、直通列車も一週五回運轉をしてゐますなほ從來同鐵道にて使用してゐた車輛、汽關車等は打つゞく戰亂のために破損甚大のもの多く、今回至急修繕を行ふことゝ決定その一部を滿鐵に注文すると

# はるびん丸

五日午前八時三十分大連港外着豫定

## 人事

▲赤塚正助氏（前代議士）　四日出帆ばいかる丸で内地へ
▲相生由太郎氏（實業家）　同上
▲錢治生氏（閻錫山參謀）　同上
▲中島勇夫氏（關東廳警部補）　四日出帆奉天丸で上海へ
▲池田眞稍氏（安田保善社參事）　同上青島へ
▲小澤太兵衛氏（實業家）　同上上海へ

# 蛇角

濱口首相登院後再び代理首相を要する樣になつたら、内閣は桂冠すべしと、政友會邊から、他人の不幸を待つ葬儀屋の樣な、さもしい言葉が出る。原内閣の時は言はなかつた。

◇

大倉男、米には失敗したから、蒙古大平原に誇る一千萬町歩の牧場を始めると吹く。その補助金は政府と滿鐵からとは云はなかつた長唄から清元へと言ふ譯にはゆくまい。

◇

ペルシヤでは鐵道の日本化と六法全書の注文をして來た。お隣りの國からは來なかつた。

◇

胡漢民氏、温泉に浸りながら絶食戰術と洒落る。蔣介石氏美人戰術でこれに當るか。

◇

ガンジーのサチアグアッファー遂に勝つ。正道の無抵抗は無道の抵抗に優る。支那も之れに學べ。

# 漢吉語印

今日　漢吉語銅革帶印、羅振玉氏藏、印文は二面で一面には利行、一面には今日利行、他面には行毋吿と行毋吿とある、これは行ひて災なしといふ意味で、易の夬卦の九五に莧陸夬夬、中行无咎、象に中行无咎、中未光也とあるのが行毋吿の三字の出典である

# 市中で噂する如き解散の意嚮なし
## 問題の大連購買組合

關東廳職員大連購買組合に絡る不正事件につき一部組合員の間には購買會不必要を稱へ之が解消を唱へる者も現れこれに迎合して市中小賣商人にも永年に亘つて續け來つた滿鐵消費組合及び購買會の撤廢運動の上に好期到來したとして此の種組合員に合流して購買組合撤廢を叫ぶ聲が喧しくなつたが、大連購買組合を事實上統督する大連民政署の意嚮としては署員を初め各加入組合員の消費經濟のために作られた購買組合で永年に亘つて利用され年額約七十萬圓の物資供給を行つてゐる有効な機關であるから一主事の犯した不正行爲による組合員全體の損害負擔は遺憾とするも、これを解消することは反つて組合員の經濟的負擔を増加し不利を招くといふ見地より組合の内部組織を嚴重に統制し爾後斯様な不祥事を生じないやうな組織を作る爲め近く役員會を開催してこれが具體案を決定することゝなつた

## 氣まぐれな組合員の撤廢論
### 辛島組合長語る

右につき大連購買組合長たる辛島民政署長は語る

今度の不祥事件に際して組合員の間には組合撤廢論を稱へる人も出來たかも知れないが、それは事件が起つたことによつて生じた一時の氣まぐれな主張であつて、決して根柢のあるものとは思へない、政府でも産業組合を奬勵し、關東州にもその法令の施行を叫ばれてゐる際、永年の歷史と實益を擧げてゐる購買組合を撤廢することは考へられないことだ、尤も組合の内部組織に就いては相當改善すべき點を認め、役員の選衡、その使命遂行等は今後嚴格にやつて行き組合の基礎をいよく堅實にする考へだ、大正十四年から今日迄の間に玉城が不正を犯してさへ、相當の成績を擧げて來た組合であるから、今後監督を嚴重にし、適當な助成方法を執れば一層堅實に、大きくなつて行くことは明らかだ

## 併合しても存置する
### 旅順のドック

滿洲ドックの大連汽船併合に伴ひ事業縮小のため廢止說有力となつてゐた同社旅順工場の存廢問題は過般來社内は素より旅順市にても此際非常なる影響を來すので過日の豫算市會席上等でも滿鐵總裁筋存續陳情の動議が出た程でその成行が注目されてゐたが、その後滿鐵で研究の結果同工場は大連の本工場より船渠設備却て大にして本工場で收容艦最大五、六千噸級までなるに比し旅順工場は一萬噸級まで修繕し得ること、その他種々存置を必要とする點があると云ふので現在通り存置するとに決定す

## 無電事件の殘黨一掃
### 大連署員が上海へ急行

さきに黴派の無電違反事件發覺し關係者十五名は目下池内檢察官の取調べを受けてゐるが、發信本據地たる上海に於ける一味數名は未だ逮捕されず、其後再計畫すべく策動しつゝあるので大連署高等係ではこの際違反事件の根絶を圖るため徹底的一味の檢擧を行ふこととなり、中島警部補は四日出帆の長春丸で上海に急行した

## 閻氏渡日は四月早々らしい
### けふ錢參謀が先發

黑石礁に悠々自適の日を送る閻錫山氏の日本行は愈々具體化し櫻時迄に間に合はすべく見られてゐるが、四日出帆ばいかる丸で參謀錢論生氏が内地に先發した、同氏の語るところによると神戸明石にある秘書楊愚誠氏と種々今後の打合せをするが錢氏は

閻錫山氏の日本行きに對しては楊氏が既に内地で家まで借りて居る事で私は單に私自身の病氣保養がてら閻氏からのことづけを傳へるに過ぎない

と語つてゐたが、大阪商船旅客係では閻氏の日本行はさう焦つて居ないから來月十日出發等と傳へられてゐるが恐らく間に合はず四月四日のうらる丸位になるだらうと見てゐる、尙錢論生氏の乘船券を購入に來た金侍醫も暗に右の說を裏書してゐた

## レコード破の埠頭の野積み

增えて行く許りの埠頭の野積み場の滯貨は、昨今大豆だけでも廿九萬噸を突破と云ふ物凄いレコードを作り「大正八年以來だ」と係員を吃驚さしてゐる、寫眞は中埠頭にはみ出した豆粕の野積み。

## 霧笛信號を改善して欲しい
### 標識促進會から陳情

大連港が近年急速なる發達を遂げ一ケ年の貿易高一千萬噸、出入船舶約九千五百隻この噸數二千五百萬噸、出入旅客約八十六萬人の多數に上り名實共に東洋屈指の港灣となつてゐる、然るに我關東州沿岸における航路標識設備の現況は尙不完全なるものがあり

不慮の災禍に遭遇した船舶は數ふるに遑なき程なるは頗る遺憾であるといふので大連港航路標識改善促進會では過般來幾度か會合してこれが對策につき熟議しつゝあつたが根本問題の解決には相當の日子を要すべきにつき差當り南三山島に於ける霧笛信號の改造は一日も等閑に附し難きものなるため右促進會委員たる山口啓三、高見三吉、大塚源吾、來村[illegible]歴、關根四男吉、小泉正次郎、袴田可郎七氏の

連名を以て關東廳海務局長、大連商議會頭、大連海運業聯合會長、大連海務協會長に宛至急其筋に向つて交渉し呉れるやう四日陳情書を提出することゝなつた

## 校舍修繕費を會長が横領
### 寄附者が訴へて出る
#### 小平島會のごたくさ暴露

小平島會河口屯石廟前居住の史興國氏は自己の寄附した校舍修繕費を會長の職を利用して着服横領した同地會長周廣榮氏(四三)を相手取つて沙河口署へ詐欺横領の告訴を提起した

理由とするところは告訴人史興國氏が小平島居住の高聚鈞氏と昭和四年九月同地蘇系山氏の所有になる畑八千三十一坪を共同出資のもとで購入することゝなり史氏はその際小洋一千圓を支出し高氏との契約は若しその畑を他に賣つて利益を得たる場合は史氏は利益金より小洋五百圓を受取ることゝしたが高氏は中途にしてその權利を三百圓にて他人に讓つた際前記小平島會長周廣榮氏は自己が會長である地位を利用して史氏に對し該土地を若し他に賣却して

利益を得た場合は屯民のために普通學堂の修繕費として利益の三分の一を寄附せよといつてゐたがその土地は同年十二月小平島居住の阿片屋王乃貞なるものに小洋五千三百圓にて賣却した

史氏は總の關係者にその利益の分配をなし更に會長との約束通り三分の一千百圓を會長に修繕費として託したが、而しその後金は修繕費として使はれて居る形跡がないので調査した結果修繕費千百圓は悉く會長が横領着服して居ることが判明したので右告訴に及んだものであると

## 世界的歌手ダ女史
### 來朝の途、來連

イタリーの生んだコロラチユラ・ソプラノの世界的歌手トテイ・ダルモント女史並にテノール歌手ミユーロー・ロマント氏の一行五名は春の帝都樂壇を賑はすべくシベリヤ經由、來朝の途次、三日夜來連、ヤマトホテルに投宿したが四日の朝、往訪の記者に「英語は至つて拙い」と愛嬌を並べながら語る

日本は今度が始めてゞ、非常な憧れを持つてゐます、今日の奉天丸で大連を立たねばならぬので、忙しくてゆつくり御話出來ないのが殘念です、これから上海、香港、マニラ、天津を經て四月の末頃日本に行く豫定で東京、大阪其他主要都市で公演して五月末ごろ南阿弗利加の方へ演奏旅行をするつもりです、伊太利で藤原義江、三浦環、原信子諸氏もよく存じてゐます

因に女史は今年三十二歳で主としてスカラ座に出演し歌劇「リチヤランメルモール」のリチヤ「聯隊長の娘」「お蝶夫人」を得意としてゐる(寫眞中央がダ女史)

## 帝國館と演藝館とが新しい裝ひで更生
### 浪速館は廢館してデパート
### 映畫戰線に大異狀

いよく改築期の切迫につれ映畫戰線に異狀を呈して來た、先づ小田英滿氏の經營する浪速館は改築の目算立たずして大連署保安係に廢館の手續を執つてなり市民と馴染深い同館は本月卅一日限り廢館するものと見られその跡はデパートに變る模樣である、また平田識吉氏が經營する高等演藝館は土地家屋所有者篠崎豐彦氏が七萬五千圓を投じて現在場所に改築するに決定してゐるが、改築後は小田斌氏が替つて經營するものと見られる、帝國館は株式會社花月館が四萬圓を投じて改築する段取になつてゐる、當局では今後新築或は改築するものは常盤座、大日活以上の設備を有する模範的常設館の出現を希望してゐるので本年九月末日竣工の豫定である演藝館と帝國館の更生は相當期待をもつて見られてゐる、なほ第二期改築は歌舞伎座

大連劇場、寶館、永善茶園の四軒で今秋九月末日限り興行を休止し十月一日から改築に着手する筈であるが、歌舞伎座の改築は資金關係で危ぶまれ、永善茶園は廢館を傳へられてをり、大連劇場、寶館は一部改造に止まるので正月興行迄に實現するものと見られてゐる

かくて興行界に自然淘汰時代が訪れた譯でその成行は興味を惹いてゐる

## 怪飛行機上海へ
### 周水子で解體し輸送

關東州内要塞地帶上空を飛んで周水子飛行場に着陸した怪飛行機搭乘者は既報の如く略式判決で罰金二百圓に處せられたが、飛行機は四日午前十時半周水子飛行場にて解體の上國際運輸の手でトラックに積み大連埠頭に運ばれ上海に輸送されるが國際では

こちらは荷造り丈引受けたのでこれからの送り先や船名は全然知りません

と稱してゐる、また遞信局航空係でも

實は船もまだ定まつてゐないのです、何れ國際にでも頼んで便船あり次第送る樣になるんでせうが詳細解りません



## まだ御法度の近代風景
### 續々とダンサーが流れ込んで深更まで踊りまはる

いつか時代の流行となつたダンス熱に浮されるモダン大連市民は社交術の一つとしてダンスを知らぬは恥だとばかりに最近家庭における練習の凄じさ、郊外の文化住宅建の若夫婦なら蓄音機のリズムにステップを

踏む近代風景を隨所に見る、いはんや藝妓、女給、若いサラリーマン階級の間には燎然たる力で伸び擴がりつゝあり、流石當局のエロ蔓延の防禦策たるダンス禁止の掟も、ヒタくと押しよせる時代の波には抗し切れなくなつて

最近漸く「ダンスホールの許可も止むを得まい」とまで軟化して來た、そこでホール設置の嘆願者が現はれた、と見る間にいつか氣早なダンサーが新天地—大連を目指して上海、天津、大阪、神戸の各地から流れ込み、モダン奧樣やカフエーの女給に教授し、さなきだにダンス熱に

浮かされてゐる連中に油を注ぎかけてゐる、こればかりは大連署も手を燒き傍觀的態度を執つてゐたが、最近東京から流れて來たダンサーで山内關子(二〇)—假名—がカフエー幾松その他に出入し夜遲くまで公然と客や女給にダンスを教へてゐるので、大連署保安係では三日午後一時ダンサー關子を呼び出し嚴重訓戒を與へた、今後もこの種ダンサーの取締を嚴重にする方針であるといふ

## 春の御苑をしばらく御散策
### まだ御吉兆を拜せぬ
### 皇后陛下

【東京四日發】皇后陛下にはその後も御經過頗る御順調に渡らせられ三日は久方振に春の日うらゝかな前庭に出でさせられ暫し御散策に御過ごし遊ばされたと承はる、三日午後九時三十分大金書記官は左の如く謹話した

本日も至つて御機嫌麗はしく在らせられますが、どなたも御參殿又は拜謁者等のことはありませんでした、御慶事の最近に迫つたことは拜せられますが未だ何等の御兆候は拜されません

四日午前十時半入江侍從より「何等御變りも拜しません」と發表した、陛下の御容態は毎日夕刻塚原侍醫拜診申上げてゐるが先月二十七日些かの御兆候を拜したぎりまだそれと云ふ御兆候はない模樣である

## 防波堤内の艀舨狩
### ゆふべ一齊に

大連港防波堤内に深夜ひそかに艀舨で縄を曳くものが増加し當局者を惱ましてゐるが、甚だしいのになると定期船繋留區域まで漕いで來てまるで官憲を侮辱してゐるが如き態度すら示すので、三日午後七時頃一齊にこれら不良艀舨狩りを行つた結果乃木町西溜居住盛川金(四二)同李永慶(三三)外四名を逮捕したが何れも縄を沒收の上科料處分に附した、尙今後は適時艀舨狩りを行ひこれら航行船舶の妨害をなす艀舨を根絶せしむると

## 吉田飛行士墜落す
### 幸ひ生命無事

【土浦四日發】陸軍飛行學校氣象班附航空局委託民間二等飛行士吉田修作氏は四日朝氣象觀測のため陸軍戰鬪機を操縱所澤を出發した八時頃茨城縣筑波郡高道祖村に不時着陸せんとし過つて雜木林中に墜落人事不省となり係官急行し十一時霞ケ浦航空隊に收容したが生命は取止める模樣である

## 輕飛行機の高度新記錄

【ミラン三日發】有名なイタリー飛行大尉ドメニゴ・アントニニ氏はキャプロニ百號機に乘り五千三百廿四メートルの高度に達した、ミラン飛行協會では右記錄は輕飛行機に依る高度の世界新記錄で從來のジンメルマン・シイジンゲル氏の作つた世界記錄を破る事七百メートルであると發表した

## 金銀兩建問題でない
### 池田氏視察談

正隆銀行總會に出席のため來連中であつた安田保善社祭事池田眞吉氏は總會後奉天、撫順等奧地視察中であつたが四日出帆奉天丸で

青島に向つた、船中語る

總會の方が大した問題も波瀾もなく濟んだので奧地を見て來ようと奉天、撫順に行つたが、行つて見て聞く以上の不景氣ぶりに吃驚して來た、殊に奉天が非道い樣だつたが、これは考へるに奉天政府が銀をすつかり握つてあまり[illegible]かないためだらう、要するに面白いと思つたのはあちらの支那人の中には銀が安くなつたとは思はず金が高くなつたと考へる向がある事で一應面白い考方だがこれでは商内は出來ない、奧に行つて金銀兩建にしたらどうだらうなんて事も調査して見たがあゝ

銀のあがり下りが非道くまちくな狀態では問題になるまいと思つた、今度青島に行くのは初めての土地でついでだし青島の支店が金銀兩建でやつてゐるからそんな方面をよく見て置かうと思つてゐる、また大連に引返して改めて内地に旅立つが丁度今度大倉喜七郎さんと前後して奧に行つたが、支那側の大倉さんを信用してゐるのは大したもので、この點大倉さんは偉いなあと感心しました



## 二月中の通關成績

二月中に於ける大連郵便局取扱の内地行小包郵便物は總數一萬八百二十七箇で前年二月に比し二千三百五十六箇の増加を示したが内地宛[illegible]關のものを除き九千二百九十三箇に對し大連局に於て通關檢査の結果課税せられたものは五百八十箇である

## 西崗街の火事

四日午前三時半から市内西崗街一九〇雜貨商宜春榮こと許蘊璞方裏より出火見るく内に同家より隣家の菓子商天茂榮方に類燒したが、急報によつて出動した消防署の活動に兩家二棟を全燒して同四時鎭火した 原因は目下小崗子署にて取調中なるも損害は約一萬圓であると

## 徘徊中御用

三日午後五時ごろ市内浪速町遼東ホテルデパート内を擧動不審の男が徘徊しゐるを遠藤刑事が取押へ本署に引致取調べるとこの男は長崎縣生れ市内二葉町五二番地中島清(二七)で民、署、圖書館、青年會館、連鎖商店等を根城に窃盗を働き被害五百餘圓に達する曲者と判明引續き餘罪を取調中

## 天氣豫報

五日 北西の風晴一時曇

各地溫度

| | 四日午前十時 | 三日最低 |
|---|---|---|
| 大連 | 一一、四 | 零下一、五 |
| 旅順 | 一一、六 | 同一、六 |
| 營口 | 一一、三 | 同六、〇 |
| 奉天 | 一、七 | 同六、〇 |
| 長春 | 零下五、三 | 同八、五 |

# 暗流阿修羅館 (1)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

## 發端 木母寺裏(一)

松造は榛切で水の中をひつ掻き廻した。

眞黒にたかつてゐた蝌蚪が尾を振つて重なり合ふやうに逃げだした。

松造は、その榛切に二つ三つついて上つて來た蝌蚪をやけに土面の上に叩きつけると履いてゐる尻切草履でふみ潰した。

そして、なんだ詰らない、といふ顏をして空を見上げた。

空はもう昏れかゝつてゐて、西空は茜色に映えてゐた。

明日は天氣といふよりは、ことによると嵐になりはしないかと思はれるほど燒けてゐるのであつた。

そして、それが川の面を朱のやうに染めて、靜かな中に、不安の色が、何處となくたゞよつてゐた。

松造は、ほんとに詰らなかつた。ほんとに淋しかつた。

今日も一日何處へ行つても、他の子供達が遊んでくれなかつた。誰も相手にしてくれなかつた。

松造はその度にかつとなつて、手近の一人をぶん擲つて泣かしては逃げて來た。

それでも兎に角、一日家で遊ばずに、戸外を歩き廻つてゐた。

松造は見窄らしい風をしてゐた。

松造は夕方になると兩親のことが思はれてならなかつた。

それで、蹣跚としいしい木母寺の彼方の襤褸の我家へ歸つて行くのであつた。

土堤から土堤下の田圃の水溜りに澱んだ水の中の蝌蚪が餘程氣になつたものと見えて、松造はもう一度、手頃の石を拾つて勢ひよくすばりと放りつけた。

「これこれ、坊や、何をする」

松造は背後から頭に置かれた大きい手を感じたので、甚だ不服さうな竹箆口をしてぐるりと向くと下から睨みあげた不敵さうな眼。

「何だい小父さん」

三十一二の見知らぬ侍、これは笑顏で見下してゐる。

「阿父さんは居るかね」

「居ないよ」

「ひどく六ケ敷い顏をしてゐる。れ」

「だつて可笑しくも何ともないのに、笑ふことも出來ないぢやないか」

「成程。それもさうだ。時に小父さんを坊やの家へ連れて行つてくれないか」

「厭いよ、小父さんのやうな立派な人の來る家ぢやない」

「立派……小父さんが立派に見えるかね。ちつとも立派でも何でもない」

「來るのは來たつて別にかまはないが、何しに來るの」

「譯があつて、何の、ちいとばかり阿母さんに聞きたいことがあつての」

「聞きたい？何だか知らんが、阿母さんは急がしいよ、絲を紡んだり襷を織つたりして働いてゐるんだから」

「さうか、坊やは阿父さんのことを訊きたいだらう」

「小父さんは阿父さんのことを知つてるのかい」

「おゝ、知つてるとも、坊やも知りたいだらう」

「そんなら來ていゝよ、阿父さんは何處にゐるんだらうな、小父さん、本當に知つてゐるのかい」

「本當だとも」

「こつちだよ」

田甫の小畦を縫つて近道を驅れた足付で小走りに案内した。

「あ、小父さん、何だらう」

松造は立どまつた。

「何だ？」

## 光と衣裳の調和

サカロフの舞踊

## サカロフの藝術

高津敏

幼時からの憧れで[illegible]た、舞踊家たることを斷念[illegible]一時繪畫の研究に專念してゐたサカロフは一代の名女優サラ・ベルナールの妙技に刺戟されて翻然として再び舞踊の研究に歸つたのであつた、そして幾多の困難に遭遇しつゝ勇敢にも當時の非舞踊的な舞踊の中に敢然として、純舞踊の大旗を押立て、闘つた苦節は遂に酬いられて、今日に於ては獨逸舞踊界の鬼オマリ・ヴイックマンと對立して、其の名聲は全歐を風靡してゐる。サカロフ夫妻の持つ藝術に就ては各國著名の批評家が筆を揃へて稱讚してゐる、今その二三を擧げて見よう。

◇

アレクサンドルは卓れた指揮者であり、驚くべき多藝な樂器奏者である。この音樂に對する深い理解は今や異常な努力によつて、音樂と舞踊とを隔てゝゐる本質的なギヤップを次第に克服しつゝある。彼の舞踊の音樂性とは、舞踊が音樂の中から生れてゐるのではなくて音樂が舞踊から生れてゐるのだ。彼は又卓れた衣裳のデザイナーだ。創意に滿ちたその意匠は現在世界の舞踊壇では恐らく彼に比敵し得るものはないであらう。彼に於てコステユームは舞踊の一部である單に舞踊の説明に止まらず、衣裳自身が渾然として舞踊の中に融け込んで共に踊るのである。其の美しい色彩とユニックな意匠、而も新鮮な創意「ネクロの歌」に於てクロチルドのまとつた斬新なコステユームを。又「ギタール」に於けるアレクサンドルの絢爛たるそれを見よ。

◇

彼の肉體はあくまでもしなやかだ。全身で來る舞踊のリズム。のびやかな跳躍。鮮かなエアクロス。見事な旋回。それは單に肉體のさゝやかなるモザイクではない。把握力と表現力に富んだその動きは、的確なる流出によつて、彼の舞踊本能の直觀的な正しさを示してゐる。爪先、殊に手の動きの巧さは從來の舞踊家には曾て見られなかつた美しさだ。限りなく表現的に而もいさゝかも誇示的でない舞踊それこそ彼の藝術である。

◇

凡そ世界の舞踊家の中でサカロフ程纖細な技術を持つてゐる人は先づなからう。多くの舞踊家は一つのインスピレーションを得れば直ぐ作意をまとめて踊りを作るが、サカロフは作意をかためてから踊りの創作に當て、その踊らんとする音樂の内容(リズムとメロデー)に對しての研究に人一倍の時間を掛けるのである。誰にも限らず踊り手は何の意味もなく片手一つ擧げたり、ステップ一つ取つたりすることは絶對に無いことは勿論の話であるが、サカロフに於てはその細かさが手首は愚か爪の先や瞳までが正確に踊ると云つても決して過言ではない。それに又衣裳の動きにこれ程の注意行き屆いてゐる人も稀であらう。

◇

サカロフの踊りは文學と、音樂と繪畫と、彫刻の立體性の渾然たる融和體である。そしてそれが纖細巧緻な線條で流れ出るのだ。要するに非常にインテレクチユアルな踊だと云ひうる、しかも維納の風韻が仄かに漂つてゐる踊だ。

◇

兎も角サカロフは嘗に逝きしイサドラ・ダンカンの後を享けて、現代舞踊界に於て獨逸のマリー・ヴイックマンとその覇を爭ふてゐるのである。一昨年スペインの名舞踊家アルヘンテイナの來朝の際は殘念ながら好期を逸したが、今回は幸ひに本格的の舞踊藝術に接し得ることを心から喜ぶものである

## サカロフを迎へるまで (下)

眞殿星磨

私がかく長々と樂屋噺をした所以のものは、大連の人々にどうかもう少し音樂藝術に對する理解を持つて頂きたいからである。荀くもサカロフ程の世界的大藝術家に接して置くことは、一生の思ひ出であり、誇りであらねばならぬ。嘗て團十郎や五代目の舞臺を見たことが現在中老の人達の自慢話しになるやうに、先年東京でアンナ・パヴロワを見た人が、彼女逝いた今日大なる幸福として、今尚其の追憶に醉ふやうに、何に依らず世界的と許ばるゝ程のものは、機會さへあれば觀て置き、聽いて置くことが、其の人の一生をどれ丈け豐富にし、幸福にするか知らぬと思ふ。之に對しせめて東京の半分位の料金を拂つて貰へないものだらうか。東京で十圓のものが此處では三圓でも尚高いと言はれるやうでは、文化都市の體面から云つても、餘りにも情ないではないか。若し今迄のやうだと良き音樂會の度毎に主催者が多額の損失をするか、然らざれば事情を知らぬ音樂家それ自身が酷い眼に逢つて懲りて了ふかで、大連に世界的の藝術家は全く呼べなくなつて了ふ虞がある。否既に三、四年來さうなつてゐるのである。慾は言はぬ。せめて一流の音樂會に五圓出す人が四百人、それでなくば三圓出す人が七百人、此の大連に出來ればとつくぐ思ふ。そうすればどんな世界的音樂家でも迎へることが出來る。無論高い料金で少數の人に聽かすことは目的でない。出來るだけ安い料金で、大多數の人に聽いて貰ふのが理想であるが、それにしても今迄のやうに、婦人雜誌にローマンスでも書かれてゐる人だと割れるやうに來るが、レオ・シロタの大演奏會には二百何十人しか來ないと云つたやうな狀態では、如何にも心細い。

最後に今度のサカロフの料金は思ひ切つて安くすることに決まつた。犧牲は覺悟の前である。私は之に依つて尊敬すべき大連の紳士淑女各位が、今や内地の藝術愛好家意識の的となつてゐる此世界舞踊界の至寶を、目の當り見ることの出來る絶好の機會を逸せざるが爲に、どれ丈けの熱心を示さるゝかを見て、大連音樂藝術界の將來をトすべく、樂みにして待つてゐる(終)

サカロフ夫妻舞踊會
**讀者優待割引券**
この券持參者に限り會費二圓
主催 音樂會社員俱樂部
後援 滿洲日報社

サカロフ夫妻舞踊會
**讀者優待割引券**
この券持參者に限り會費二圓
主催 音樂會社員俱樂部
後援 滿洲日報社

## キネマと演藝

### 噂話

世界的名舞踊家サカロフ夫妻の人氣は物凄く、おまけに會費一般三圓▲社員と讀者割引が二圓といふ内地ではなに一見[illegible]安い料金なので▲五日の朝から前賣する會券の申込が早くも殺到し座席の爭奪戰が華やかに豫想される▲既から敵振を覺悟して安くて一人でも澤山の人に見せやうとした結果▲どうやら固定席は間違ひなく賣切れさうなのでこれなら安心と來朝する藝術家も續々と招聘しようでいふ話が持上つてゐる

# 滿洲日報

## 平田篤胤全集

文學博士 上田萬年
文學博士 山本信哉
平田盛胤
共編

發行所 取次所 內外書籍株式會社 吉川弘文館

豫約募集

不朽の名著・偉い業績

內容見本無料進呈

申込 三月卅一日限

規略

明治神宮宮司 一戸大將曰く

德富蘇峰先生曰く

井上哲次郎博士曰く

三上參次博士曰く

眞鍮看板
ネームプレート調製
大連市浪速町一七 沖本ブリキ店
電話六二六一番

## 美味滋養 蜂ブドー酒

春の保健に 蜂ブドー酒の一杯！
あさ……氣分爽快
ひる……能率增進
ばん……疲勞一掃

近藤利兵衞商店

水道器具
衛生器具
私設下水
汚水淨化
消火器具
暖房器具

須賀商會滿洲總代理
株式會社 進和商會
電話(代表)八二二七番

活版・石版 製本 諸印刷
滿日社印刷所

白紙委任狀 株券の流通と 株券諸問題の解說及判例
附白地手形問題
滿洲銀行頭取 村井啓太郎氏序
滿洲銀行取締役 長谷正平氏著
發兌 賣捌所 大阪屋號書店 全滿各地書店

ライオンの のみタバコ 歯磨スモカ

氣の利いた 家具と裝飾は
カーテン・敷物
ブラインド・リノリーム
壁紙・其他
商店陳列設計
滿業工家具 大連伊勢町滿銀向

製品 鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號裝置 鐵骨家屋、豆油容器、鍜鐵類
株式會社 大連機械製作所
本店 大連市沙河口

業務 物品販賣業、倉庫業、運送業、保險並に船舶代理業、造船業及附帶事業
取扱品目 滿洲特產物、豆粕、石炭、コークス、鐵道用品、各種機械、セメント、木材、硫安、化學肥料、酒精、其他工業藥品、金物、鑛石類 其他食料品
三井物產株式會社大連支店
大連市山縣通百八十二番地

最新入荷
改良新型 オスタープルドック鐵管捻子切器
杉元商店

大連工業株式會社
專賣特許 耐寒防水覆布
教練服
男女學生服
訓練服
洋服・家具・室內裝飾
大連市橋立町二〇
電話 八四〇四 三一一一 二六一四

學生募集
三月十五日 四月一日 入學開始
本科、速成科 二十名 晝夜間共
入學資格 尋常程度滿十八歲以上の男女 詳細學則無代送呈
大連日華自動車學校
電話二一〇三 二六四五

印刷一般
活版・石版 オフセット ヂンク版
株式會社 東亞印刷 大連支店
大連市近江町
電話 七三六六 六八九四

資本金 壹億圓（全額拂込濟）
積立金 壹億壹千參百五拾萬圓
本店 橫濱市
橫濱正金銀行 大連支店
大連市大山通

設計 監督 建築
梶原建築事務所
梶原勇雄

度量衡
水上洋行
大連市恵比須町

梶田小兒科醫院

サ ア ユ
蓄電池 乾電池
手提電燈 發破器 投光器 集魚燈 オートバイ用 自動車用 灯火用 ラヂオ用 通信用 其他各種 （カタログ送呈）
行洋葉山
製造所 大連信濃町
湯淺蓄電池製造株式會社

最新刊
三民主義
幸運の道へ
趣味の滿洲
日華麻雀史
東洋問題
日本共產黨
教育の社會性
個性の美
華嚴大經
山嶽黨奇談
綿羊娘情史
巴里情痴傳
女性黎明
滿書堂書籍部
大阪屋號書店

# 新聞紙の使命に就て

## 松山忠二郎演說筆記（中）

最後に新聞紙は、劇藥のやうなものであります、其功罪とも頗る著明であります、特に建設の方面よりは破壞的方面に於てその影響が顯著であります、破壞的方面において其力の偉大なることは、何物も之に及ばないのであります、一、二の例を引けばフランスに於ける百年前の大革命の如き、時勢の然らしむるところであつたとはいへ、新聞紙がこの破壞的行動に於て大いなる役割を演じたと思ふ、また十年前のロシヤの革命もさうである、ロシヤの革命が果して成功であるか否かは、今日判決を下すにはまだ時期が早いかも知れませんが、兎に角帝政を斯くの如く根柢から破壞した事に就ては、新聞紙が最も有力な役目を演じてゐたと思ひます、新聞紙が斯かる危險なる役割を演ずるのは、概ね讀者に媚びるからであります、一枚でも發行部數を多くせんが爲め、多數の讀者、卽ち低級の讀者の人氣取りをやらんと思ふことから起る間違であります、此の點は責任ある新聞記者の最も考慮せねばならぬ處であります、同時に發行部數の多い新聞が必ずしも尊敬すべき新聞とは限らぬのであります。

以上申述べたところで見ると新聞は如何にも厄介なものであり、功が少くして罪が多いものゝ樣にも見える、しかし新聞紙の建設的效能はその破壞的效能ほど顯著ではないが、漸次に非常なる偉力を發揮するのであります、其效能が漸進的に顯はれるので、目に立たないのでありますが、例へば明治維新以來の日本帝國が、今日の進歩發達をなしたについては、新聞紙の貢獻するところ頗る偉大なものがあつたと思ひます、或は教育の總ての機關が學生を教育した力よりは、新聞紙が汎く一般社會を教育し來つた力の方が偉大であつたかとも思はれます、それから日清、日露兩戰役の場合の如きは明かに新聞紙が大なる貢獻をなしてゐます、この兩戰役において陸海軍が第一戰に立つて戰鬪に從事した功績は、決して沒すべきものではありません、其の勢力が第一の必要要件であつたことはいふまでもないが、その背後にあつて新聞紙が國民に敵愾心を鼓吹し、擧國一致、義勇奉公の念を吹き込んだ事において、軍國のため貢獻したことは、餘りに顯著なる事柄であります、或は我田引水の誹を蒙るかも知れませんが、自分は固く確信するのであります。

若し夫れ新聞の效能を最も明かに理解せん爲めには、假りに新聞のない時代を考へて見るのが一番捷徑である、その例もいろくあるが、最も著明なる例は大正十二年の關東大震火災の時である。

關東大震災の後一時は東京附近の新聞紙は悉く休刊の止むなきに至りました、此時に當つて世人は新聞紙のない事を最も遺憾としました、飲食物の供給は第一要件であつたが、第二に新聞紙の供給を渇望し、熱望したのであります、特に政府當局者は、新聞紙のないために非常なる困難を感じたのであります、例へばその當時朝鮮人の行動について莫迦々々しい流言蜚語が行はれて、それも單に東京附近だけではなくて瞬く間に關八州に瀰漫し、政府は戒嚴令を布くのやむなきに至つたのであります、若しこの時に新聞紙があつたならば彼の如き大混亂を呈しなかつたに相違ない、その時は實に官民とも新聞紙の一日も早く復活せんことを熱望したのであります、そうして新聞紙の飲食物に亞いで最も必要な機關であることを、明かに實驗したのであります。

以上述べるところによつて新聞紙の短所及び長所を大體に明かにし得たと思ふ、卽ち新聞紙は其の經營の如何によつては、單に無用の長物となるのみならず、時としては有害な働きをなすこともある、之と同時に其の經營方針の如何によつては、社會人文の上に偉大なる貢獻をなすものである、卽ち劇藥の如きものである、自分はこの度滿洲日報の經營に當るに際して、この鏡を出來るだけ平面にし、事實ありのまゝ映る樣に心掛け而して其の論評も穩健公正を期したいと思ひます。

# 地方行政の矛盾調和が政治の妙諦である

## 減稅案の論難に內、藏兩相の答辯 貴族院本會議（四日）

【東京四日發】貴族院本會議は午後一時五十分再開、午前に於ける長岡隆一郎氏（交友）の減稅案に關する質問に對し

**安達內相** 逐條の御答へを爲す前に一言したい、地方財政殊に町村財政の今日の狀態は一朝一夕に起つたものでなく永い間に行詰りを生じたのであつて福島縣の俸給不拂の如き現內閣成立前からの事態である、また地方財政が膨脹したのは失業救濟事業の關係であるから、これをもつて緊縮政策放棄と爲すは當らない

一、中央財政の破綻を救ふだけを目的とし地方財政には壓迫を加へると云ふやうな意思はない、又將來とも同樣でなるべく地方財政を緩かにしたいと考へてゐる

一、本案は地方團體に採り却つて增稅となるといはれるがこれを避けるためには經過辨法を設け十三年度まで緩和する事になつて居る、このためには戶數割、家屋稅の輕減等も存すし又歲出も切詰める

一、府縣稅、營業稅及び附加稅の輕減に就ては地方財政の緊縮の道もあるし各稅の增徵の道もある

一、本案に依り財源が減ずるがそれは極めて少額であるから大なる懸念はないと思ふ尙ほ明年度の地方財政整理に際し尙ほ一層研究する

**井上藏相**

一、地租法に依り大都市では增稅になるといはれるが此の點は負擔の公正を期するにあるからやむを得ないと思ふ、卽ち本法に依り田畑が千八百萬圓減稅となり宅地に於て五百八十五萬二千圓ばかりの增稅となる

一、法人の營業收益稅を個人のそれより多くしたのは社會政策に合致すると信ずる

一、稅制の全般にわたつて改正するなら間接稅と直接稅との按配をうまくやれるが二千五百萬圓と云ふ限られた財源でなすのであるからこの邊が適當と信じた

一、減稅財源に心配はない又減稅案を撤回するとか延期するとか云ふやうなことは考へてゐない

と答へ再質問のため

**長岡隆一郎氏**（登壇） 內相は地方財政を壓迫しないと言ふが余は證據を持つてゐる

さて山形、宮森兩縣の河川改修費繰上げ納入に關する地方長官の說明その他河川改修事業の例を引き、更に農林省が各府縣知事に對し米價對策として「各府縣の罹災救助基金を以て出來るだけ玄米若くは籾を買上げよ」と命令しこの結果、各府縣とも罹災救助基金を以て米を買上げたる事實、同じく府縣廳の命令で市町村がその基本財產を以て玄米を買上げた事實に就き福井縣の例を上げ

**長岡氏** これ卽ち國家事業たる米穀政策のために地方財政を壓迫した明かな證據である、失業救濟のための地方公債と共に本案も勿論地方財政を壓迫するものである、これでも政府は地方財政を壓迫せぬと強辯するか

と斷案する

**安達內相** 河川改修は早くやつて貰ひ度い、然し地方費は切詰め度い、それが地方行政の矛盾であるから御說の樣な事も出て來る、その矛盾を調和するのが政治の妙諦である、罹災救助基金で米を買上げる場合は餘程差迫つた場合に限つてゐる、その損失は府縣で負擔するのであるから差支へあるまい、失業救濟の地方公債は地方の要望する事業をやるのだから一擧兩得だ要するにこれ等を以て地方財政壓迫と爲すは至當であるまい

長岡氏自席より發言を求め

**長岡氏** 安達內相は余の質問の要點が呑み込めないやうだから他日判り易い言葉で問ふ、尙ほ本日質問した以外に余の質問を欲する重大問題がある、それは濱口首相が出席してから直接問ふ事にする、然し余は濱口首相の登院を強要するのではなく政府が今月十日頃迄に質問應答に堪へ得るだけの體になつて登院すると言明されたからそれ迄保留すると云ふ意味である

と述べ質問を打切る

### 統帥事項の疑惑を質す 池田長康男

池田長康男

**池田長康男**（公正）（登壇） 議會の閉議で兵力量に關する統帥事項の確立した事は結構であるが尙ほ疑惑がある、この點に就き法制局長官に伺ひ度い、內閣官制第七條に依れば此の軍機軍令に關し奏上するものは天皇の旨に依つて下附せらるゝものを除くほか陸海軍大臣より內閣總理大臣に報告すべしとあるのが國務と統帥事項とに分れるのは如何なる根據か、又これが奏上は陸海軍大臣のみなすものか、又軍事參議官はこの上奏をなし得るか

**川崎法制局長官** 軍機軍令に關するものでも內閣總理大臣にも下附されず又陸海軍大臣からも報告なきものは國務に屬せないと云ふのが從來からの解釋であり慣行である、帷幄機關は皆軍機軍令につき上奏することが出來る、軍事參議官も勿論出來る

と答へこれに對し池田男再質問せんとしたが定足數を缺ぐため德川議長許さず同三時廿八分散會した

# 減稅特別委員長に柳澤伯 研究會が推す

【東京四日發】貴院研究會は四日午後院內に常務委員會を開き減稅案に關し議長の手許に提出すべき特別委員の候補者銓衡をなしたが議案の委員長問題につき意見の交換をなした結果本案の審議は相當紛糾すべきを以て研究會としては政黨的色彩なき柳澤保惠伯を委員長に推し萬一審議未了となるも會としてなるべく責任を輕くせねばならぬと言ふに大體一致したもの、如く從つて協議員總會等の異論なくば既定方針を變更し柳澤伯を推す形勢である

柳澤保惠伯

# 倉地鐵吉氏の去就が分岐點

## 道廳移轉費問題と分科會の微妙な形勢

【東京四日發】貴族院に於て重大化せる北海道々廳移轉問題は四日よりの豫算分科會に於て更に嚴密なる檢討を受ける筈であるが、本問題を決定すべき豫算第六分科（鐵道、拓務）の形勢を見るに研究會が復活論に傾いた結果、小松謙次郎（主査）保科正昭、秋元春朝、八田嘉明及び交友俱樂部の川村竹治、山之內一次の六氏は復活派で、復活反對派は稻田昌植（副主査）大隈信常、大井成元、菅原通敬、土田萬助の五氏となり主査の票が見らぬ以上兩派各五票の同數で倉地鐵吉（同和）氏がキャスチングボートを握ると云ふ頗る微妙な關係に置かれてゐる、然して倉地氏は朝鮮に於ける事業關係もあり從來の政治的立場より見て反民政的と見らるゝだけに倉地氏の去就は復活派に幾分有利と見られ本問題の成行は益々興味深いものとなつて來た

# 濱口首相の登院問題を廻り微妙に動く政局

## 鍵は首相の體力に

【東京四日發】濱口首相の議會登院は三月上旬と聲明した手前政府與黨首腦部はその期日につき打合せ中であつたが九日午前宮中に參內、天機奉伺の後皇后陛下、皇太后陛下の御機嫌を奉伺し秩父宮家に伺候し他の宮家には代理を伺候せしめ

**御挨拶** を言上したうへ十日衆議院本會議に臨み、それぐ挨拶をなす事になるだらうと期待されてゐる、しかし登院後約二週間に亙る議會の紛糾に果して首相の體力が續くかどうかは各人の等しく憂慮する處であり、これに絡り政界各方面には早くも政機動くとして種々な思惑やら宣傳策動が行はれる情勢に至つて居る、よつて政府並に與黨に於てはこれらの策謀を警戒すると共に登院後の首相の健康問題に最も留意し務めこれに備ふべく種々協議をなしてゐるが、與黨幹部も病後の首相を

**全力を** 擧げて擁護し政敵の首相いぢめの作戰に極力對抗せねばならぬとしてゐる、しかしてその結果首相の體力が無事議會を乘切るに耐へ得るに於いては勿論策動宣傳も當然雲散霧消するのであらうが萬一、一般の憂慮が現實化し首相が會期中病臥のやむなきに至らば局面は俄に重大化し責任觀念強き首相は或は貴院花井博士等の勸告通り辭表捧呈の決意をなすに至るやも知れず、ひいてはこれを動機とし與黨は是非豫算案並に重要政策の遂行上議會中に民政黨總裁の更迭を實現せしめ

**大命の** 再降下に備へんとするに至るは必然であり、之れに對し反政府系方面では極力これを阻止せんとし必死の策動を惹起すべく、斯くては政局の推移は今より既に豫斷を許さざるものがあるとされてゐる、卽ちこれ等政局の變動如何は總て首相登院後に殘されるわけであり、又總裁の任期は本年六月一日を以て滿了となりその際濱口總裁は再任を辭退するに至るやも知れず、これらの氣構へもあつて與黨內には或ひは議會後も多端なるを免れざるべく、しかも後任總裁につきては

**大勢は** 依然安達內相にあるとはいへなほ豫測を許されず、かくて政局の鍵は今や濱口首相の體力にかけられ登院問題をめぐり政局が微妙に動きつゝあるはやむを得ぬ事實であらう

# 『政權盥廻し』の陰謀飽く迄排撃

## 首相登院と政友の觀測

【東京四日發】濱口首相の登院問題を中心に政界に種々の觀測行はれるに至つたことに關し政友會側では左の如く見てゐる

卽ち衆議院に於て現內閣の秕政を徹底的に政友會が暴露したことは直に貴院に反映し、貴院も政友會の正論を認むるに至つた結果減稅案に對する貴院の態度は俄に硬化し今日の狀勢では到底その通過は期し難き狀勢に陷つた、玆に於て政府は濱口首相を登院せしめその同情に依つて該案の通過を期せんとし同時に政權盥廻しの陰謀を策し所謂一石二鳥の作戰に出んとしつゝあるのである、而して政府は政權盥廻しについては減稅案の通過と共に總辭職を決行し議會開會中の理由を以て濱口首相は後任者を奏請し有利に政局の轉換を圖ると共に萬一減稅案が握り潰しに遭ふも政局の轉換をなし[illegible]れば其責任を前內閣に轉嫁し恬然として政權を維持せんとする魂膽である、併し政策的に全く行詰れる民政黨に例へ議會中と雖も大命降下するが如きことは立憲政治の本義に鑑み有り得ないことで、政府が政策的に破綻せる場合は次の內閣は當然反對黨によつて組織せらるべきである

さなし政友會としては玆數日の形勢の推移を見たうへ適當な對策を立てると共に飽くまで政權盥廻しの陰謀を排撃せねばならぬとし嚴重監視しつゝある

# 女子に結社の自由を認める

## 治安警察法改正案 けふ衆院本會議に緊急上程

【東京四日發】政府提出の治安警察法改正案は滿二十五歲以上の女子に結社の自由を認めるものであるが、同法案委員會は四日これを修正し更に僧侶その他の宗教師にも結社加入の自由を與へる事に政民兩派の妥協なり、政府もこれを承認するに至つたので五日の委員會で採決のうへ當日の本會議に緊急上程する事となつた

# 選擧法改正案につき協議 顧問官や委員連

【東京四日發】四日の樞府本會議は御諮詢案なきため各顧問官は午前十時半宮中に於て天機奉伺の後選擧法改正案精査委員等居殘り金子委員長より政府側との折衝經過につき報告を聽取し種々協議をなしたが、精査委員會としては政府の出方を待つて何分の處置を執る事とし正午散會した

# 婦權案の修正意見 研究會の態度

【東京四日發】三日貴族院本會議に上程卽日委員附託となつた所謂婦人公民權案に對し貴族院研究會公正交友等の有力諸會派では大體自由問題とする方針であつたゝめその通過を豫想されてゐたが各派に分屬する多數議員中には相當強硬なる反對論擡頭し三日午後の研究會の政務審查各部々長理事の聯合會に於て本問題につき意見の交換を行つた處

今回の市町村制改正案中には男子の選擧年齡を二十歲に低下する條項を含んでゐるが樞府の強硬な反對によつて撤回の已むなきに至らんとしてゐる以上本改正案における選擧年齡低下の條項には愼重の考慮を拂はねばならぬ

として修正說が相當有力であつた、これ等の結果より見ると本案も強ち樂觀を許さぬ形勢であると見られてゐる

# 婦權案正副委員長

【東京四日發】貴族院婦人公民權案委員會は四日午前正副委員長互選の結果委員長酒井忠正伯、副委員長黑田長和男を互選した

# 印度自治運動の講和協定成立

## ガ氏ア總督との間に

【ニューデーリ四日發】印度自治運動に一時的講話を齎すべきガンヂー氏とアーヴイン總督との協定は四日午前二時全部完全に確定した、聞く處によれば右協定にて總督は自治運動取締の警官措置緩和を約し財產回復問題にも中正なる取極めをなした由でガンヂー氏は右講和成立後直ちにヒンヅー教、回教兩教徒間の諸問題につき協議を進めたき希望し且つ第二圓卓會議に參加する事を應諾した

### 鹽專賣法讓步

【ニューデーリ三日發】ガンジーと印度總督アーヴイン卿との會談は二週間の內最初十日間は行詰りを見せ悲觀されてゐたが今月に入り双方若干の讓步をなす用意あるを示してより俄に進展してシユスター財政長官立案の鹽專賣法協案に對するガンジーの好意的態度から俄に三日抗衡一段落となつた、而して今回の協定成立の報は印度自治運動史の一大事實でガンジー氏自身に取つても一九〇九年初めてインド自治の志を立ててよりの最大のクライマツクスとされ今後氏の行動には深甚の興味がかけられてゐる

# 印度新憲法の支持を約す

【ニューデーリ四日發】ガンジー氏はアーヴイン總督との協定においてイギリス側の要求を容れ新憲法制定後はこれを支持擁護すべき事を約したものと解せられてゐる

# 重光代理公使 南京に赴く

【南京四日發】重光代理公使は昨夜十一時發南京に赴いた

# 銀行法改正案 民政派から提出

【東京四日發】民政黨の有志議員九十三名は四日衆院に銀行法中改正案（同法四十一條の猶豫期間五ケ年を十ケ年に延長するもの）を提出した右は地方銀行中今後二ケ年內に增資、合併又は解散せねばならぬもの二百數十行があるがこの猶豫期間を更に五ケ年延長せんとするものである

# 競馬收入使途を明記

【東京四日發】競馬法改正案中に競馬による國庫の收入の使途を明記した全項を新に挿入すべしと農林省は主張し大藏省では收入の使途を限定すれば將來支障を來す虞ありとして反對してゐたゝめ閣議決定が延びてゐたが、三日本會議散會後町田、井上兩相協議の結果農林省の主張通り新に競馬による收入の三分の二を馬事振興資に充當するとの條文を加ふることに意見一致を見たので四日同改正案並に牧野法の二案を法制局に廻附しその審議を經て議會に提出することゝなつた

# 救護法實施費

【東京四日發】政府は救護法を七年一月一日より實施することに決定したが、その財源については三日大藏、內務、農林三省間の協議により六年度三月間の實施費は七十五萬九千圓と決定大藏省で計數整理の上五日衆議院に第二號追加豫算として提出に決定した

# 佛外相協定評

【パリー三日發】佛外相ブリアン氏は三日佛下院において佛伊海軍協定は[illegible]諒解に過ぎず明年十二月迄の兩國海軍の休日協定と見るべきものであると

# 佛伊協定で諒解を求む

## 駐日佛國大使我外務省訪問

【東京四日發】フランス大使マルテル氏は今朝十一時外務省に永井事務次官を訪問し佛伊協定に關し報告すると共に日本側の諒解を求めるところあつた

# けふの貴族院 減稅案質疑續行

【東京四日發】五日貴族院は午前十時本會議を開き減稅案の質疑を續行、なほ豫算各分科會、婦人公民權特別委員會

# けふの衆議院 本會議を開く

衆議院は定刻本會議を開き、電氣事業法案、土地收用法案、著作權改正法案、勞働災害扶助法案外八件の政府案を上程、一讀會を開きなほ問題の米穀法改正案の討議に入る、勞働組合法小作法國立公園法等の委員會が開かれる

# 混保制度の活用を圖る

## 滿鐵商工課が

滿鐵地方部商工課では大連港の輸出貿易の發展に資すると共に從來兎角輸出先需要家方面に徹底を缺いてゐた滿鐵混保制度の一層の活用を圖るために今回鐵道部と協力して昭和六年度より四、五年計畫を以て歐米各國の搾油工場等主として實需筋に對し混保大豆並に混保制度の宣傳を開始することになり目下具體的方法を研究中であるが差當り昭和五年度產混保標準見本を鐵道部パリ在勤事務所に送附し品質、格付、等級表示等に關する簡單なる說明書を添附して各方面に廣く配布せしめることゝなつた

# 佛伊協定の內容

## 英佛伊非公式に發表

【東京四日發】今回の佛伊海軍協定に關し英佛伊より非公式に發表せる處によればその內容は左の如きものである

**主力艦** フランスは新艦二隻四萬七千噸を建造し現有勢力と合せて十七萬五千噸とす イタリーはフランスの建造に對し幾分小型の主力艦を建造す

**八吋巡洋艦** 佛伊兩國共一九三〇年の計畫完成に止む

**潛水艦** フランス八萬一千噸 イタリー五萬二千噸（四萬七千噸に艦齡超過艦を加算す）

**驅逐艦** 一九三六年迄の佛伊建造噸數左の如くす フランス十三萬六千噸 イタリー十二萬噸

以上兩國保有總噸數の開きは二十四萬噸但今回の協定においてイギリスは潛水艦に關しフランスに過大の保有量を許してゐるので我が當局は目下愼重審議を進めてをり近く具體的意向を纏め閣議の承認を經た上フランス政府に通告する筈であるがフランスは日米兩國政府並にイギリス自治組合政府の承認を待つて協定細目を發表する筈である而して本協定はロンドン條約に言及して左の如く述べた

英佛、英伊交涉の結果イタリー政府は圓滿なる解決に到達せんがため進んで讓步を行ひ協定成立に漕ぎつけたのである、而して今回の海軍協定は完全なる佛伊協定の良き手初めとなるもの

# 中等學校以上の授業料値上げか

## 財務部との口約で 板挾みの關東廳學務當局

關東廳立各中等學校以上の授業料は現在工大本科年五十圓、豫科三十圓、中學校並に高等女學校各月額二圓五十錢でこれは內地に於ける各官私立大學、中等諸學校の授業料に比ぶれば殆ど年額乃至三分の一近くで、朝鮮、臺灣に比べても尙相當の

**割安で** あるので、關東廳學務課では既に昭和五年度より豫算關係から工大本科、豫科各二十圓引上げを初め中學校、女學校は月額五十錢を引上ぐることに大體決定してゐたのを學務當局で時節柄考慮して實施を見合せてゐたが、來る六年度には財務部當局との口約一ケ年を經過したので今度はいよく實行を餘儀なくされ、のつぴきならぬ立場にあり或ひは値上げの

**實現を** 見るやもはかられぬ、學務當局では御不景氣續く滿蒙の折柄であるのでその結果を憂慮し目下財務部との口約の板挾みとなりジレンマに陷つてゐる

# 艦隊入港で協議會

五日午後一時より埠頭ビル二階會議室において埠頭關係者のみによる艦隊入港に對する協議會を開く

# 大觀小觀

懸案になつて居た奉天取引所の大豆、高粱先物取引は、愈々五日から開始することに許可された▲奉取と云へば先づボロの値の方だが、これで少しはボロの値も出るだらう。淋しい奉天が幾分でも活氣附けば結構だ▲大豆から「味の素」の素の、グルタミン酸鹽が、發見された。滿洲大豆の新用途が一つふえた譯だが、グルタミン酸は腎臟に惡い影響あり、と言つたら味の素が賣れなくなる▲世界中の男女が羨ましがつた伊國皇太子と白國皇女ジヨセ姫とは御成婚一年の今日、美人といふものは初めはいゝが三日續いたら、といふことになりそう▲ショウは俺の言つた通りだと、手を叩いて喜ぶだらうが、ローマ法王は何んと裁かれるか▲鈴木傳明、岡田時彥、上流令孃の手紙強請の參考人で警視廳に召喚、が大連滿洲にはそんなのはないそうです▲剿匪總指揮何應欽氏の報告、共匪に與へた損害二萬、我兵の投降したもの二萬▲それでは差引きゼロになる、濱の眞砂と共產軍は

# 市豫算委員會審議を終る

## 意見書、希望條件附の問題は特別委員會に附す

大連市來年度豫算委員會續會は四日午後四時より開會、前日に續き審議されてゐた經常部歲入から開始され

▲第七款市稅、第一項戶別割を後廻しにして第二項不動產取得稅附加稅一萬七千圓、第三項特別稅貸家稅一萬二千四百五十圓は何れも原案通可決、第四項特別稅諸車使用稅二萬六千百六十圓及第五項特別稅遊興稅六萬五千圓の兩案は仙波、芦塚兩委員の質問が見えてゐなかつたゝめ相當異論あるものとして後審議に讓り

▲第六項 不動產に關する權利取得稅附加稅五百圓を可決後直ちに歲入臨時部に入り

▲第一款 繰入金二千六十圓、第二款寄附金一千圓も大久保財務課長の說明で異議なく原案を認め

特別會計基本財產歲入出、同歲入出豫算案は理事者の說明通り異議なく可決、市營住宅經營歲入出豫算の審議に移り委員側からの

**質問で** 大久保財務課長は貸店舖創立當時から今日の現狀に至る資金の運用、貸出、買受の狀況等詳細に說明、これに對し金井委員を中心に相當質問の矢が向けられしも原案通り五年度より一萬一千圓減の十四萬一千九百十七圓を可決、歲出は經常部の事務助手一名採用で議論の沸騰を見たるも長濱社會課長が各地から取寄せた參考案を引出し大車輪の說明でこれまた無難に原案を認め、更に審議後廻しとなつてゐた經常部歲入▲第七款第四項の特別稅諸車使用稅二萬六千百六十圓に立ちかへり、同稅は大正九年奢侈稅として市規則に制定せられてゐるが時代の推移により今日これを奢侈稅とするか否か、自家用自動車を一律にせず車に等級をつけて稅率を設ける、營業用自動車は奢侈稅を課すべき時代でない、自家用、營業用自動車、自家用馬車自家用人力車を

**特別稅** とせず附加稅として乘馬車貨物自動車その他總ての諸車使用稅とすべきだ等々[illegible]の如く異論百出し遂に競馬、ゴルフには奢侈稅を課すべしなどの餘興も飛ぶ騷ぎであつたが、結局市規則の改正を要すべき問題であるため自家用自動車は等級をつけ稅率を設けること、營業用自動車その他は奢侈稅と見られぬ時代になつたゝめ研究することゝの意見書希望條件附で原案を可決し六時一先づ休憩、六時半再開、仙波委員出席で全委員揃ひ遊興稅審議に入つたが市役所自身もその徵稅に困り拔いてゐるのみならず、各地が皆て餘してゐる問題で委員會でも更に名論なく、申告請負にするか否か、營業者の未收金調查を如何にするか、警察屆出のものを以て徵稅する、一方には撤廢を叫ぶもの或は歲入豫算だけの

**削減を** する等諸車使用稅以上の硬軟各議論を見たが迷論のみで結局六年度收入七萬五千圓を六萬九千圓に削減し徵稅方法の立案を理事者に一任することゝして可決、第一款戶別割に入る前長濱社會課長より山縣通市場火災跡に建築するバラツクの說明をなし了解を求めるところあり、戶別割及び今日までの審議された議案中に意見書、希望條件附等の問題は委員會に特別委員會を設け審議を一任することゝなりその委員は岡野、野本、芦塚三氏を推し八時圓滿裡に審議を終了した

# 實際削減は約四萬圓

## 市理事者の提案 大成功を收む

豫算委員會の審議は七日間を以て別項の通り四日終了したが委員會に於て豫算審議の結果を檢討するに歲出に於て經常部五萬一千八百二十圓、臨時部に於て五萬二千七百七十圓を、各々削減したゝめ合計に於て十萬四千五百九十圓の削減を見たわけである、故に

**大連市** 來年度の歲出豫算は經常部九十三萬四千五百三十三圓、臨時部十三萬四千二百六十三圓、合計百六萬八千七百九十六圓で、歲出削減額十萬四千五百九十圓より歲入削減額二萬一千二百七十一圓を差引いた八萬三千三百十九圓が戶別割の削減引當に流用されることゝなり、從つて六年度計上原案の戶別割六十二萬四千七百六十八圓は五十四萬一千四百四十九圓に修正を見ることゝなる、これを前年度卽ち五年度豫算六十四萬一千四百六十四圓に比較する時は十萬十五圓の削減である爲

**一點當** で見れば六年度原案が二十一錢五厘七毛、委員會修正案によれば十八錢七厘弱で原案に對し一割三分三厘強の削減となる五年度と比較すれば一割五分五厘削減である（原案は五年度より二分六厘減で編成してあつた）

結局全豫算面を見て十萬四千五百九十圓の削減だがこのうち六萬圓は公社の新築費及金銀比價關係でこれは意見の相違だから已むを得ぬものとし後の四萬圓が

**緊要な** 豫算の所謂削減である、然し全豫算の率から見るときは前者は九分一厘弱なるも後者は三分五厘に過ぎない故この程度の豫算削減は當然あり得べき問題で、豫算提出者たる市理事者側からすれば大成功でありまた圓滿な豫算面と見るのが穩當であらうと觀測されてゐる

# 豫算審議順序

續開中の大連市豫算委員會は大體四日を以て審議終了五、六の兩日は委員會に於ける修正その他の整理を行ひ七日に本會議を招集の運びに至るだらうと見られてゐる、若し兩日で整理の準備が整はない場合は九日の月曜日となるだらう

# 張學良氏の權限聲明

【北京特電四日發】張學良氏は三日、二月廿八日附にて余は總司令部の命令により今後東三省、熱河、察哈爾、河北、山西、綏遠八省の全軍隊を統率することゝなつたとその權限を正式に聲明し通電した

# 滿鐵工務研究會續開

滿鐵々道部工務課が主體となる第十回工務研究會は四日午前十時より本社本館會議室にて開催されたが引きつゞき五日も研究會を續開、六日は午前十時より社員俱樂部にて講演および映畫會を催し、七日は一同甘井子埠頭を見學解散の筈、四日の研究會には地方より三保線事務所長、事務所各技術關係長、各保線區長、社外線工務關係者等、本社側より山領工務課長以下各部關係課員一同參集、沿線各保線區等よりの提出議案、工務課提出諸問注意事項につき協議を重ね午後に涉つて閉いたが、五日中にて完了の筈

本日廳報及廳報號外を添ふ

# 市場電報

**神戶特產**

| 銘柄 | 値 |
|---|---|
| 大豆現物 | 四三五 |
| 大豆先物 | 三三五 |
| 豆粕現物 | 一〇五 |
| 豆粕先物 | 二一八 |
| 滿洲小麥 | 三三五 |
| 豆油現物 | 一六〇 |

**東京株式（長期）**

| 銘柄 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 東新 | 一二六一〇 | 一二六二〇 |
| 東株 | 一一六五〇 | 一一六六〇 |
| 五品 | 不申 | 一一七二〇 |
| 中 | 不申 | 不申 |
| 先 | 不申 | 一一七三〇 |
| 信 | 不申 | 不申 |
| 新 | 不申 | 不申 |
| 中 | 不申 | 不申 |
| 先 | 一〇四〇 | 一〇四〇 |

**東京株式（短期）**

| | 東新 | 鐘新 |
|---|---|---|
| 寄値 | 一一五五〇 | 六八七〇 |
| 引値 | 一一五二〇 | 六八八〇 |
| 高値 | 一一五七〇 | 六九五〇 |
| 安値 | 一一四九〇 | 六八五〇 |
| 滿鐵新 | （不申） | |

**大阪株式**

| 銘柄 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 大株 | 六一〇〇 | 六一二〇 |
| 大新 | 四八一〇 | 四七九〇 |
| 鐘紡 | 一六八七〇 | 一六九四〇 |
| 鐘新 | 一六九四〇 | 一六九六〇 |
| 東新 | 一一六一〇 | 一一六四〇 |
| 日糖 | 不申 | 一三八〇 |
| 郵船 | 不申 | 不申 |

**大阪綿糸**

| 限 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 三月 | 一四七六〇 | 一四七七〇 |
| 四月 | 一四六七〇 | 一四六九〇 |
| 五月 | 一四四九〇 | 一四四七〇 |
| 六月 | 一四二六〇 | 一四二六〇 |
| 七月 | 一四一二〇 | 一四一二〇 |
| 八月 | 一四一〇〇 | 一四〇八〇 |
| 九月 | 一四一四〇 | 一四〇五〇 |

**神戶期米**

| 限 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 三月 | 一七七三 | 一七七七 |
| 四月 | 一七八一 | 一七七六 |
| 五月 | 一八一九 | 一八一五 |

**東京期米**

| 限 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 三月 | 一七八九 | 一七九〇 |
| 四月 | 一七八八 | 一七八八 |
| 五月 | 一八二八 | 一八三〇 |

**大阪期米**

| 限 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 三月 | 一七六九 | 一七七〇 |
| 四月 | 一七七四 | 一七七四 |
| 五月 | 一八二〇 | 一八二一 |

**橫濱生糸**

| 限 | 後場一節 | 後場二節 |
|---|---|---|
| 三月 | 六七八〇 | 六七七〇 |
| 四月 | 六七九〇 | 六七六〇 |
| 五月 | 六七三〇 | 六七五〇 |
| 六月 | 六七三〇 | 六七六〇 |
| 七月 | 六八〇〇 | 六九〇〇 |
| 八月 | 六七九〇 | 六八五〇 |

# 人間性の研究
## ―參考書三四―
長谷川泰造

人間は物質的に三度の食事で生活し、精神的に他人の心の中に生活する。他人の心の中を探らうとすること、もつと學問的に云へば人間性を研究することは、人間本來の性癖である。長い人類の經驗は、此の性癖を強め、其の上に幾分の磨きを掛けたのである。

古くから、格言、諺などには人間性を諷刺したものが少くない。古い時代から人間に人間性研究の性癖のあつたことは、古い格言、諺などでも知ることが出來る。漫畫、警句、洒落などを見ても、其處には漫畫家なり、作家なりの人間觀が現はれてゐる。芝居、落語なども人間性と全く沒交渉であつたなら、殆ど全くの藝術味を失つて終ふだらう。

古代の神話になると――特にギリシヤの神話ではさうであるが、主題は人間性共物である。個人的性が一つ一つ抽象され、それが理想化されて、物語の人物として取扱はれてゐるのが、此の神話である。天照大御神は完全なる神性の權化である。其他の神々も一つ一つの人間の個性を表現してゐる。各國の文學は、人間性を究めやうとする國民全部の性癖の結晶であるともいふことが出來やう。

人間性の研究は古くから行はれてゐるが、それは無意識的に本能的に行はれたといふべきである。此れが意識的に科學的に行はれるやうになつたのは古いことではないと思ふ。

十年ほど前に記者は Delmas 氏 Boll 共著の La personali te humaine「人格」と云ふ書物を讀んだことがある。普通の人格をもつてゐないのは酒精中毒者、狂人、瘋癲であるが此等以外は普通人格者であるから先づ此等を研究すれば普通人格者の性質は自然と解る。以上は此の書の著者の思ひ付である。

人間性の研究は社會科學研究の第一歩である。記者の見解を以てすれば、人間性の研究なくしては社會科學の研究は出來ない。此れ以上に議論を進めることは此の稿の目的でない。僅かばかり人間性研究に關する參考書を擧げて說かう。

### 一、人間共本性

人間の基本性は人間の後天性に對する言葉である。基本性の研究書として名高いのは

Thorndike; The Original Nature of Manである。

基本性は人間の性に依り人種に依り、また個人に依つて異る。此差異は遺傳的である。遺傳學研究の必要も起きて來る。遺傳の參考書としては

Thomson, J. Arthur; Heredity など手頃である

兩性の性格研究としては

Ellis, H. H., Man and Woman

人種的性格研究としては

Le Bon, Gustave; Psychologie des peuples

(文明協會版の邦譯書がある)など適當と思はれる。

### 二、人間性と社會

基本性は他人に反應して、變化する。いつまでも基本性のまゝでない。人間の基本性は社會組織の中にあつて感化され、全く別のものにされる。

人間性と社會と云ふ項目の下に擧げらるべき本も多いが、次に二三を紹介する。

Cooley, C. H., Human Nature and Social Order

Escartin, E. Song Y., El Estado y la reforma social

Dewey, John; Human Nature and Conduct

「オールヂヤパンの女子庭球界代表者」

最近テニス修行のため米國に渡つた朝吹常吉氏夫人磯子さんは同じ庭球選手の正二(二)三吉(一)の二令息を伴なひ各地で轉戰し彼地ではオールジヤパンの女子庭球界代表者として持つてはやされてゐるが近く春のトーナメントも開かれるので數々の渡米土産を持つて歸々歸朝の途につくといふ。寫眞はビーバーヒルのコートに於て寫した三人【ロスアンセルス發】

# 精神分析學とマルキシズム
## (上) ―陶朔郎氏譯を讀んで―
X M 生

ユリネッ、の「精神分析學とマルキシズム」が陶朔郎氏に依つて飜譯され、汎人社より出版された事は日本の讀書界に取つて實に嬉しき事である。云ふ迄もなく精神分析とマルキシズムは現代の二大思潮を成すもので、今後の人類生活に關心を持つ者に取つては此兩科學の敎へる原理原則は何等かの形式に於て問題とならざるを得ない。初めは神經症の一治療法として極めてハンブルな地位から出發した精神分析學は近々四十年の間に全人類の精神生活の有らゆる領域にその痛烈無比なる理論を以て侵し來り、精神生活の經濟原則を擁護し、今や一大批判時代を惹起しつゝある事實は、先にマルキシズムの社會生活、經濟生活に於ける人類の自己防禦感に與へた一大痛棒に比す可きものがある。マルキシズムの理論、其文化史的意義は今日何等の說明を要しない程既に論じ盡されてゐる。精神分析學の理論はその冷酷峻嚴たるにも拘らず、今日大體認められるに至つたが、其文化史的意義或はその實踐性に關しては未だ充分に檢討されてゐない。本書はマルキストの立場より精神分析學主としてフロイドのそれを論評し、フロイドのリビドオ、無意識、エヂイプス錯綜に就き仔細に點檢し、精神分析學の不徹底を暴露したものである(譯者の序文)

精神分析學が一神經症の治療法に滿足せずして有ゆるものを包括する世界觀たらんとする處に彼ユリネッ、はフロイド主義の唯美主義形式主義的傾向を暴露してゐる。彼は云ふ――フロイド、特に彼の學徒に於ては既に早以前の範圍を飛び越えてブルジョア哲學の種々の方向の聯絡なき混雜物になつて了つたと。彼の攻擊の鋒先は精神分析學の最近の發展たる自我の理論、超心理學的勞作、其社會理論への應用に向けられる時に特に鋭い。彼は云ふフロイドの師シャルコーの熱心な幾分懷疑的な個性は今や影となつてしまひ、我々は近代のワルプルギスの夜の其粗暴なる喧騷その混亂せる亂舞の只中に置かれてゐると。彼は精神分析學が從來の精神病學に反對して神經症の原因を生理的なものではなく純粹に心的變化の中に求めてゐる事を、フロイドに於て無意識過程の「時間なき」卽ち時間的に配列されてゐない事を、快の原理に對立する現實の原理を認められたる心的なるものであるとする事を彼のユリネッ、は觀念論のいみじき表現であるとしてゐる。しかして彼は最近のフロイドの超心理學的勞作就中「快感原則の彼岸」と「自我とエス」の二論文を、アリストテレスの學說――今日の新キネタリズムの衣で飾られ――及びフィヒテの學說からの組合せをベルグソンの美しい繪に於て、而も部分的にはフエヒナアー精神物理學のフエヒナアでは無く、夢想家の――及びニイチエの美しい繪を織交ぜて表現したものであるとしてゐる。

## 八相

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以内のこと。

### 難問題ではない
一父兄S・T生

◇…最近の新聞を見ると商業校の入試問題が難しいと色々と書いてあるが私も受驗生の一父兄として其の入試問題を見たが新聞に書いて有る如く其の樣に難しい問題ではなかつたと思ふ、學校で授業を受ける時に眞面目に聞いて居れば何も試驗勉強をせなくとも出來る程度のものである、又眞面目に聞いていなかつたとしても小學校の方では昨年の夏休み頃からぼつ〳〵と中等學校の入學準備はしているはずだから敎へ書を讀んでいさへすれば分る事だ。

◇…一父兄の如く「こんな事なら受驗準備をさせて置くのだつ」た等と言事は甚だ其意を解し兼ねる又外池常盤校長の談にも色々書いてあるが苟くも一小學校長でありながらあの樣な事を言ふのは實際譯が分らない、又此前の小學校長會議の時に決定した入學試驗の際には前例を破つて先生が附添つて行かないと云ふ點についても甚だ意を解し兼ねる次第である、又學校當局の取締をなす學務課も昨夕の紙上の如く如何なる入試問題が出たか知らなかつたと云ふ事に於ても然りである。

◇…かくの如く私の考へでは父兄敎育專門家の間で論爭されてゐる處の此商業入試問題は左程至難なるものではないと思ふ、友木商業校長の意見の中の如く小學校に入るのと違つて入學試驗を受て入るのだから受驗準備を幾ら廢すからと云つても受驗する以上は少々勉強するのは當然なる事だと思ふ。

伊勢町某店の一人 へ御答へ致します。記者に對しての御意見は誤解だと思ひます我社にはそんな記者は一人も居りません紙面に關する御注意感謝致しますどうか今後ともどし〳〵御投書を下さい。成る可く掲載致しますから、だが文字は丁寧に書いて頂きたいもので。

## ラヂオドラマ
# 永遠の戀愛
(上) 山谷三郎

人 詩人 十九 モガ 嘉子

說明 春とは云へ時々寒さうな風が道行く人々の袖を拂ふのです。此處は有名な詩人十九の家です十九が室の眞中のテーブルの前に腰掛けて、テーブルの上に置かれたコーヒ茶碗をボンヤリ見て居る處から始まります。

十九 あーあ(あくびの聲)今日も又、これで暮れてしまふのか、どうしてこんなに感興がないのかなあ……おーい、誰か居らぬかれ

嘉子 (戸の外からの小聲)はい (戸を閉める音)

十九 なあんだ

嘉子 え、私よ、驚かつて

十九 驚くはないさ

嘉子 だつて貴君は、お前か、なんて振り向いた切りじやないの

十九 あゝ、……お前にはもう感激する處が無いから

嘉子 おや〳〵、中々貴君つて人は私を感激さすわれ

十九 ふゝん

嘉子 丁度、私が劇場に出て居た時分、貴君の噓ばかりの詩に感激した樣に

十九 あの頃のお前は生きた人魚の樣だつたから、俺のこの胸が躍つて、振えて居た純情さが、詩となつてお前を感激さしたのだらうよ。

嘉子 生きた人魚、その頃の私がそんな古い形容詞で云はれる女だつたかしら、もつと變化があつた筈よ。

十九 はーあ、お前はれ、それで澤山だつたよ、だのに

嘉子 だのに、私がその形容詞に引つ掛つたつて云ふの

十九 お前と云ふ生きた銀座の人魚が、完全に俺の物になつて、腰の中で躍つてるんだよ

嘉子 貴君は餘程躍ると言ふ言葉がお好きなのれ、私が劇場に居る時分躍ると云ひ、又私が貴君に身をまかせた時、心が躍ると云ひ……

十九 どうなと云ふがいゝよ

嘉子 さてもお可笑しいわ

十九 何がだい

嘉子 男はれ、え、私が知つて居る男達は皆、貴君みたいだつたのよ

十九 何が

嘉子 私が一番始め家を飛び出したとき、頼つた男は、私を活動女優にして吳れる約束で、私のこの身體を思ひ切り抱き締めて僕は貴女を立派な女優に仕上げることが出來ます、と喜ばせて吳れたのですが、ワンサにしたまゝで、一月は續かなかつたの

十九 お前は眞實のことを云つて居るのか

嘉子 そして二番目の男、大學生でしたわ、その人の下宿で、私が麻雀で負けたかはりに、汚れた蒲團の中に一緒に寢てやつたの、然しその學生は可愛さうに私を三回ホテンに連れて行つたばかりよ

十九 おい、一體お前は何人男を持つたんだ。

嘉子 銀座モガで相當知られた私に、何を云つてるの、何人位の生やさしさじやありませんよ、私の身體には恐ろしい毒が廻つて居るし、あらゆる男達が持つて居た病氣を全部持つて居る筈その病氣が私をこんなに美しい肌にしたのですわ

十九 何だつて

嘉子 そうよ三番目の男……

十九 もう聞かん(テーブルを叩く音コーヒ茶碗のカチ〳〵鳴る音)

嘉子 まあ、どうせ嫌になつた私が勝手にしやべるのですから、辛抱してお聞きなさい。三番目の男、それはあの禿鷹の樣な小說家、そのお馬鹿さんが、一ヶ月の間、あらゆる雜誌や、新聞小說に、私のこの繻子の樣な皮膚を賞め上げて、さて宣傳して吳れたの

十九 馬鹿やめろ(コーヒ茶碗の破れる音)

嘉子 コーヒー茶碗が破れちやツたぢやないの。

# 痴語
(下) 桂泰兒

吾々は、花代は藝を賣る報酬、枕金は身を賣る代償であつて藝妓、娼妓一律に言ふのは頗る不當であると思つてゐた。然るに、今此の理窟によると「花代」なるもの〻中には當然身を賣るべき代償を含んでゐるらしい。さするとき遊治郞甚だ話が簡單になつて來る。

◇

日 毎に賣る身の勤め。今日の苦界の神詣、道頓堀を天神へ、櫻も一里を飛梅や、社のめぐり浮れ出て、見渡せば數々の、花屋植木屋立並び、色賣る〳〵、花の色賣る吾も色賣る身は仇花の、花に、價の高下があれば、勤めの品も段々の、品々あるも道理や、花と色とはもと一つ、されば身を賣る金の名を、花代とこそ名づけゝれ…(生玉心中)

流 石は近松、花の色賣る吾も色賣る、と說明した。花の價に上下ある如く、勤の品も段段あるのも道理ださうだ。花と色とはもと一つ、故に身を賣る金の名を「花代」とは言ふさ。

◇

此 處に於ける身を賣るは頗る意味深いが、結局は花代=枕金を裏書するものたるにすぎない。さするさ、藝妓、娼妓とは――結論は極めて簡單である。

◇

異 名同體にして、身を肉を切り賣りするものである。

# 花粉の日
## 赤松月船氏の近業
(上) 北村謙次郎

…から流詩を集めた、麗しいペエジの上に、惜たしげに眼を走らせてゐた月船氏は、突然「ほう、辛夷の花があるぢやないか」と叫んだ。然ふ館に坐つてゐた井伏鱒二氏が「どれどれ」と膝を乘り出してきて「うん辛夷だれ」と[illegible]た。それから二人の間に、辛夷の花が如何に美しいか、早稲田の何とか云ふ神社の傍のN館といふ下宿の傍にある辛夷の樹が如何に大きいか「こんなに大きいんだよ」と鱒二氏は兩腕を擴げて、[illegible]の模樣を描いてみせるのである……「春になつたら君んとこへ行つて、ついでに多摩川へ梨の花を見に行きたいな」詩集を側においた月船氏は、今度は私の方を向いて、梨の花に雨のかゝる風情のよさを說くのだが、それは私にも勿論異議は無いのであつた「君んとこの金雀枝は何處で手に入れたの?」月船氏は又もや鱒二氏の方へ顏を向けて尋ねるので、誰かれた人は「なに、おやぢの家の庭にあつたのだ」と空嘯いたが、君のことを以後は金雀枝君と呼ばうなぞと云ひながらにこにこ笑ふ月船氏の顏を見てゐると、鱒二氏のいふおやぢさんは十九くらゐになるどこかのお孃さんの間違ひなのではあるまいかとも疑へてくるのであつた。金雀枝の花はダヌンチオも作品の中で、戀人を迎へる往來に撒かしてゐる程の花だから、鱒二氏が十九になるお孃さんの庭から掠奪して來たにしたところで、むしろその方がよつぽどふさはしく思はれるといふものであらう。で、とにかく、花を語る月船氏は實に花に打込んでゐる熱情を見せるのだが、それはずつと以前、氏が詩集「秋吟」を上梓した時から、今日新詩集「花粉の日」を編まれるまで絶えることなく氏が身に纏うて離さぬ衣裝なのであつて「花粉の日」を繙く人は、山吹、桔梗、牡丹、そしてさきほどの辛夷、或は薔薇、雁來紅其の他、其の他佐藤春夫氏の所謂、一個の植物戀愛の感を、再びそこに新に懷かされずにゐられぬに違ひない。そして、これはもつと大切なことだが、氏の花に對する愛情が、今やほんのりと暖かい圓熟醇厚の滋味を底にたゝへたものと變つて來たことに氣付かれるであらう。肉體を墮する詩がある。

悅樂と陶醉へ誘ひこむもの
すがしく執拗な肉體!
いゝえ、白い牡丹!
彼女を抱きしめれば抱きしめるほど
いよ〳〵それは白い牡丹の香りであつた。

――しづかな、それでゐて官能的な、しかしやつぱりしづかな――これは氏の或隨筆中にある文字だが、そのまゝ氏の作品を說明するのに役立さうな言葉である。

## 紅い夕日

◇…吉林省政府主席張作相氏の日常の生活を聞くに每朝七時に起床、八時或ひは九時に調練處に行つて一時間を費し朝食後政府に赴き公文の點檢を初め毎週水土の兩日委員會を開催して居る(吉林)

◇…鳳城財政局長楊學同氏は公金約二十萬元を費消して逮捕者財政廳に告發せられ費消金全額を吐き出した上罪狀審理のため拘禁中虛病をつくり看守を買收して病狀重態醫師の診斷を要する旨を上司に報告せしめ其結果一週間の出監療養を許されたのを幸ひ此機を利用し荷馬車で四臺子にいたり同地より汽車にて奉天方面へ向ひ逃走したが目下行方不明【鳳凰城】

## 大連の名士婦人は婦人公民權をどう見てゐるか（上）

最近自然的要求運動を續けられて來た婦人參政權の前提たる婦人公民權案は二月二十八日の衆議院を遂に通過した、貴族院の方も少しの議論曲折を經るだらうが結局通過の見込で斯くて日本婦人も參政權の一部を與へられ從來男子專制であつた政治に第一歩を踏み出すことになつたが我國婦人運動及び政治史上に一エポックを作るに到つたものである、今回の婦人公民權といふも市町村公民權に限られ選擧權及び被選擧權を與へられたもので婦人參政同盟、婦選獲得同盟、婦人矯風會の婦人運動團體では更に道府縣にまで及ぼすやう猛運動を續けてゐるが一方既に現婦權法案の貴院通過を見越して內地市町村では早くも立候補準備を開始した婦人もある、近くの大連市では市制規則が勅令となつてゐる爲め勅令改正の要あり直に內地同樣婦選が許されるとは思へないが今回の婦人公民權について各名士婦人の感想を聽いてみる

### 婦人議員が出來れば市會も和やかに緩和されやう

大連市長　田中千吉氏談

內地の婦人公民權案が衆、貴兩院を通過して實行されるとなつても大連市が直に實行されるとは思へない、大連の市制規則は勅令であるから即ち勅令第四條一項の「帝國臣民たる男子にして年齡二十五年以上の者」といふところを改正しなくてはならないわけだ、併し孰れにしても愈々婦人公民權が行はれるとすれば從來の投票數も倍加し當然選擧される議員の顏觸れも違つて來るだらう、直に婦人の市…[illegible]…權を議員が怎うするか興味ある問題だ、大連市に婦選を許せば從つ…[illegible]…て泥縄の地方委員會の方も色々さうした問題が起るだらう

### 婦人の立候補は感心しませんね

神明高女校長　村井榮藏氏談

當然もう婦人に參政權を與へられて良い時だと思ひますよ、今の女學生は何時選擧權を與へられても良いやうに教育されてありますし心配はないと思ひます、現在女學校の實業科の中にも公民科に關する教材があります、併し又愈々婦人公民權が實施されるとなるとこの方面の教材も幾分改めて公民科に力を入れなければならない、でせう、併し私は選擧權の方は代議士選擧權をも與へて良いと思ひますが被選擧權の方は怎うですかね、女が家を外に立候補などをやつて演說して飛び廻るのは餘り感心しませんね

### 喜ばしいことです

矯風會大連支部法律部長　公谷夫人談

大連支部でも昨年久布白女史の來連を機とし婦人參政權獲得同盟を作り目下會員も百名以上に上つてゐる譯ですが、せめて參政權の一部である公民權だけでも得られたといふことは喜ばしいことゝ思ひます、愈々內地でも婦人公民權が實施されるやうになれば是非大連でも同樣に市制規則を改正していたゞきたいと思ひますが既に數年前內地で實施されてゐる少年禁酒法でさへ當地では實施されてないのですから怎うなりますかしら、併し精々私共で運動致したいと存じます

### これからの婦人は勉强が必要

岡安牧師夫人談

永年の矯風會の運動目的の一部が漸く達せられたわけですがこれから婦人も勉强していかなければなりません、私ども何時も婦人の會合などで感じますが我國の婦人は從來引込思案で居るのを美德のやうに思ひ人前でもろくに思つたことがいへないのですがこれから婦人公民權が得られたとなると婦人もごしごし大衆の前で政談演說や何か所見を述べる機會が多くなりますから思つたことをどしどしたとひ間違つてゐても良いから遠慮なく云ふといふことを修養しなければならないと思ひます

### 合萌三月詠草（一）

—滿洲短歌會—

向ひ家の日あたる壁に煙の影うつりひろがり今靜は晴れつゝ　河上知凡草

ぬくみもつ日射しうらうら照りて來ぬ小島の雙のきこゆ寒山　志賀圻夫

街路樹にもたれつゝ居て人待てば春また寒き裸木のゆれ　永原いれ子

更に今路面にひゞく靴の音街の火遠く別れ來にけり　西澤流

### 日ノ丸號ノユクヘ（二）

次朗

日ノ丸號カラ ハ、太郎ノ トコロヘ、ラヂオ デ タエズ シラセ ガ キタ「今 ゲンカイヲワタツテヰル」

ソレカラ、シバラク シテ「今 フジサン ノ 上ヲ トンデ ヰル、ユクワイダ」ト イフ シラセガ アツタ

「今 チシマ ノ 北ヘ キタ カゼ ガ デタ」太郎ハ、カゼ ガ デタ ト イフノデ スコシ シンパイニ ナツタ。

### 雛人形の「しまひかた」

◇…三月三日のお節句も濟んだのでお雛さまはまた來年の三月まで納つて置くことになりました

◇…先づ毛氈は小さな棒でよくたゝくか電氣掃除器具で埃をよく吹取るかしてから一通りブラッシをかけ、樟腦かナフタリンを入れて箱の中にしまひます

◇…毛布はとかく虫のつき易いものですから雛人形は必ず毛氈と別々に箱に納め、これも樟腦或はナフタリンを入れて置くのですが、樟腦やナフタリンのために人形の顏や衣裳にシミが出來ることがありますから、それらの藥品は紙に包みなるべく衣裳の間などに入れて置くやうにします

◇…裸人形や衣裳人形の顏は櫻紙のやうな柔かくて濕氣のない紙で包み頭髮などは鳥羽根のやうなもので輕く拂ひます、斯うして置けばいつまでも新らしいまゝで保存することが出來ます

春はまだ淺けれど……◇

### 群書閑談（七）

—假名遣法の本—

瀨野皓太

二讀、今の小學校で教えてゐる假名遣ひ法に就いては、識者間に於て、區々なる論議がなされてゐる。學校に居る間は、恐らくは蝶を「テフ」と書くで有らうとも、一度社會に出て了へば「テフ」なんて奇體な假名書が通用しさうもないのだ。

そこで文部省でも既に、臨時國語調査會と言ふのを作つて、この假名遣法に就いて、種々協議を行つた末出來上つたのが所謂表音假名遣法若くは發音假名遣法と呼ばれるもので、從來の國語假名遣法に字音假名遣法は歷史的假名遣法と呼ばれる事になつた。

◇

この文部省の案による表音假名遣法に就いても、また仲々異論も有り、絕對の意味に於ては表音式にはなつてゐない所もあつて、完全なる案とは言へない。これに就いては、巷間傳へ聞く所によれば在來の文法學者が、その與への根本的に抹殺されるのを恐れて、極力之に反對した爲め、相當歷史的假名遣ひ法の痕跡を殘したのだとも言はれてゐるが、苟くも文部省に於ける成案が、斯樣な妥協のうちに立つ間は、本當の意味の國語改良が出來る筈がない。殊に吾々のやうに圖書館に關係してゐるものにとつては、この妥協的成案は甚だ迷惑至極で、結局は可及的妥協のない表音假名遣法を別に作られればならぬと言ふ選に向いてゐるが、一つの國語の同じ目的を持つた假名遣法が幾つもあるなど、莫迦々々しいが仕方がない。

さてこの假名遣ひ法に關する書物では、大は參識的例の多いものから、單なる文法書の一部分になつてゐるものまで有らうが、評者の樣に一般的な公衆にとつては、手つとり早く、明快に之を受け入れる事の出來る樣な手頃な本が要求されるに違ひない。

その爲には、從來の歷史的假名遣ひ法のものでは、明治書院の「實用假名遣要義」或は光風館の「假名遣法」等があるが、何れも三四十錢位の手頃な本だ。分類、例題等に就いては前者明治書院の物の方が勝れてゐるとも言へやう。

◇

文部省案の表音假名遣法に關するものは、至つて少く、現在筆者の知れるだけも三册位しかない。其內、比較的良いと思ふのは東洋圖書の刊、木枝增一氏編「臨時國語調査會發表漢字漢語假名遣整理案」と言ふ本で、價格は二圓。この本は例題は極めて適切で、文部省案の忠實なる敷衍としては申分はないと思はれる。この他大正融工社編の「假名遣と送り假名詳解」と言ふのがあつて、良い本らしいので、評文してゐるが、今の所評者の手許には届いてゐない。この樣に文部省案の表音假名遣を評する本が僅いと言ふ事は、畢竟するに國民が雜多な、不統一な名遣ひに滿足して、之がために起る日々の過誤に對して無關心なためかとも思はれる。

吾々とても、目下はその必要に迫られ止むを得ずして、これが研究に沒頭しつゝあると言ふ狀態で今迄は不便を感じながらも、その看過してゐたのだが、幸ひに可及的吾々圖書館業者の間に、完全なる成案を得て、先づ圖書館に於て之を實施し、從つてこれは必然的に國民の間に浸潤し、國語統一の大業を遂行するを得ば、幸甚である「文化は圖書館から」これは何も吾々の手前味噌ばかりではない。

### 家庭メモ　家庭常備藥　オキシフル

オキシフルは家庭の常備藥として一般に知られてゐる藥品です、此のオキシフルは過酸化水素の三％水溶液で強い殺菌力を持つて居りますから創をしたやうな場合に之を用ひると其の部分を殺菌消毒して化膿をふせぐばかりでなく、血液の凝固を促して出血を止める作用があります、過酸化水素の混合物のないものは食品殊に牛乳の防腐消毒に用ひられたりすることがあります。

### 街頭言

▲今月は各校の母國見學團が相續いて夫々れの內地へ修學旅行に出發する▲先づ松林小學校の五年生四十六名及び彌生高女の三年生九十七名が十六日にバイカル丸で鹿島立ち▲二十日には神明高女の三年生九十八名が四名の教師に引率されて陸路出發▲まだ冬の寒さが街路樹の梢に名殘を止めてゐるが街燈を漫步する人がめつきりふえ電園や鏡ケ池畔の兒童遊園地は小さな子供たちで終日賑ひを呈してゐる

### 相談

◇應萬事相談　◇用紙ハガキ　◇相談係宛

**ワキガのくすり**

今日未だにワキガを根治することの出來る藥は無いさうですが一時押への塗り藥の良いのがあればその良藥をお教へ下さいませ又その藥の値を御教へ下さい（安奉線一愛讀者）

藥屋さんで賣つて居るミツワのワキガ取り藥（價四十錢）新藥ダモラ（價六十五錢）がよいさうです

**マニラ放送局　波長**

マニラ放送局の呼出符號と波長御教示の程（哈爾濱K生）

KZKZ（波長二七〇・三米）KZIB（波長二百六〇米）KZPM（波長四八〇米）

# 在滿小學校長の奏任待遇者決る

## 大連三名に安東撫順の各一名　きのふ辭令出づ

滿洲における初等教育に從事する在滿小學校教員優遇のため昨年十一月滿洲にも內地同樣小學校に奏任校長を設けることに決したが、今回左記の如く五氏に對して辭令が出た

**辭令**【東京四日發】

大連西崗子公學堂長　倉島丑太郎
伏見臺尋常小學校長　國本小太郎
朝日尋常小學校長　櫻井勤四郎
安東大和尋常高等小學校長　手島幸三郎
撫順千金小學校長　瀧川嘉一郎

奏任官を以て待遇せらる(各通)

## 老軀を提げて御趣旨に副はん

### 最古參者倉島校長談

滿洲初等教育界に於て最初の奏任待遇の榮を得た五氏のうち三氏は大連から選ばれたが、倉島西崗子公學堂長は明治二十四年檢定にて小學教員の免許狀を得た篤學の士で、郷里長野縣及び東京市にて教鞭をとり同三十八年來滿、數年旅順第一小學校の初代校長を振り出しに在滿初等教育界にあること二十六年といふ最古參者である辭令を手にして氏を訪へば光榮に喜びながら語る

私のやうな者が奏任待遇なんて實に光榮の至りです、これひとへに教育御尊重の御精神からでせうが私も今後老軀をひつさげて益々職務に盡し御趣旨に背かざらんやう努める決心でございます(寫眞は倉島氏)

## まことに光榮の至り

### 櫻井校長談

櫻井朝日小學校長は明治三十七年東京師範學校を卒業、三年餘同地に教鞭をとり同四十年五月來連して引續き今日まで市內各小學校に歷任したものであるが氏は語る

まだ私は少しも存じませんがほんとだとすると實に光榮の至りです今後とも微力ながら大いに當地初等教育のため盡したいと存じます【寫眞は櫻井校長】

## 今後ともに勉強する

### 國本校長談

國本伏見臺尋常小學校長は明治三十一年熊本師範學校を卒業後同縣に教鞭をとること十六年、大正四年四月當時の大連第一尋常高等小學校分教場主任として來連し昭和三年三月伏見臺小學校長に轉任、今日に及べるもので氏は語る

三人のうちで私は滿洲教育界には一番日が淺いのですがこの名譽に浴して實に光榮の至りです私なんか既に老朽の中に數へられる方ですが今後とも勉強したいと存じます【寫眞は國本氏】

# ゆふべ內田運送店主詐欺罪で收容さる

## 玉城氏の取調べで共犯關係判明　購買組合の不正事件

關東廳購買組合大連支部の不正事件は取容中の玉城元主事の取調べによつて漸く共犯關係が判明するに至り、井關檢察官は三日午後五時ころ星刑事課長と打合せのうへ俄然活動を開始し市內彌生町三三番地內田運送店主內田連城を拘引し、第一調室で一應取調べ午後七時詐欺罪で收容した、

### 起訴前の强制處分により

內田氏の罪狀は玉城元主事と共同で不正購入品の運搬に當つたものである、なほ玉城氏と某銀行出張所主任と協同で奧地……

## 高松宮兩殿下リヨン御到着

【リヨン四日發】高松宮同妃兩殿下には三日リヨンに御着、日本領事リヨン市長等の御出迎へを受けさせられ無名戰士の墓に花環を捧げられた

# 東京の百貨店に十萬圓の脅迫狀

## 犯人は吉林生れの華人

【東京特電四日發】日本銀行を初めとして松屋、松阪屋、三越等のデパートその他三十數ケ所に現金十萬圓を上野公園まで持參せよとの支那人譚十洞氏名義の脅迫狀を……

三日朝一齊に配達したる犯人あり警視廳外事課で直に調査の結果、市外杉並高圓寺町居住の吉林省生れ莫天(三二)を逮捕、取調べにより山東省生れの譚十洞氏を陷れんと企んだ事を自白した

# 張宗昌將軍愈よ歸國に決る

## 十四、五日頃に出發　ゆふべ別宴を張る

## 賣國奴事件きのふ求刑

### 主魁は懲役六年

【京城四日發】曩に在任中手に入れた帝國軍艦長門の秘密設計圖を某方面に賣却せんとして昨年の暮京畿道警察部に檢擧された所謂賣國奴事件の軍機保護法違反事件公判は三日午前十時より京城地方法院に於て山下裁判長、織田檢事立會の下に開廷左の如く求刑された判決言渡しは來る十一日の筈

懲役六年　宗正職里(四三)
懲役四年　酒匂ツル(二五)
懲役一年六ケ月　石垣勇(三一)
懲役一年六ケ月　長谷川梁(四三)

……は一、二名の共犯者を出す模樣である

# 湯山に監禁中の胡氏絕食して頑張る

## 元老が心配し調停中

【南京特電四日發】胡漢民氏は引續き湯山に監禁されてゐるが氏は對蔣抗手段として絕食を決意したらしく二日以來如何に勸めても一切の食物を拒絕してゐる、これに對し元老達は大いに憂慮し蔣氏との間に調停を試みてなりその成行注目されてゐる

## 胡漢民氏依然監禁

【南京三日發】當地より二十粁の山中にある湯山溫泉に拘禁中の胡漢民氏を訪問すれば溫泉倶樂部は多數の兵士に嚴重警戒され記者の差出した名刺を見て、介石總司令の紹介がなければ面會を許さぬ是非面會したければ蔣氏の紹介狀を持つて來いと劍もほろゝの挨拶で追拂はれた、外交部は本日胡漢民氏監禁の事實を否定したのだが矢張り嚴重監禁され締戶を開けた硝子窓から胡漢民氏の憔悴とした姿が籬の木立越しに見受けられた

## ダンス場結局許可か

大連にダンスホールを設置するの……

# 養護學校で弱い兒童を保護

## 委員の意見を集めて近く具體案をつくる

虛弱兒童保護の爲め滿洲に養護學校を設置するについては過般の滿鐵兒童生徒保健調査委員會に於て委員附託となり七名の特別委員を選んで研究することゝなつたが、……

### 意見は

大部分千種學校衞生主任の手許に集まつたので近く……

# 傭ひ手なし

## 「箱」一臺も持たねば

### 內地からの運轉手渡來增加で漸く大連も受難時代

タクシーの洪水は運轉手の過剩を生み失業の賦內に溢れ出た內地都市の自動車運轉手で新天地を求めて來連するものが滅切り增加し、最近ではこのタクシーへも求職を申込んでゐるが、需要の割にタクシー一臺も持つて居ないものは……

## 各學校にも養護級

### 千種主任語る

## 十四大家が公開

### 裁縫編物の急所秘訣

## 設置せよと言ふにある

# 目にあまる特殊婦人の活躍

## 埠頭に出張つて來ては盛んにお客を釣る

不景氣がこたえて逢坂町、小崗子の醜業婦が新しい誘客方法として最近埠頭に出入するものが激增し……

## 豆粕から蛋白質

### 東京で完成

【東京特電四日發】豆粕から小麥以上に優良な蛋白質成分を經濟的に取る製造方法が東京工業試驗所大豆蛋白研究室の增野工學士の手で完成された……

## 盛んだつた元宵遊藝會

### 昨夜本社講堂で

中日文化協會主催、中華女子手藝學校の元宵遊藝會は四日午後六時……

## 列車中から飛び降り

## 世界舞踊界の二明星サカロフ夫妻の夕

### 六日夜七時半から協和會館で

【會費】倶樂部會員と滿日讀者一圓　音樂會

會券は五日朝から社員倶樂部事務所で前賣座席券と引換へます

後援　滿洲日報社

# 虹と兜虫（60）

龍膽寺雄 作
一木弴 書

兜（十八）

僕へ立籠めた蒸氣で人の姿は朧でも、灯りは仄かでも、さすがに人前で――子爵は珊瑚をさりげなく腕の中から離すんでした。

子爵と二人きりのつもりではしやいで居た珊瑚も、どうやら感興へ不意に水を注された樣な氣持で、裸を半分手拭で隠すと、そのまゝ湯氣に熱した岩の背を傳つて、灯りの仄暗いとある部屋の隅の湯のたまりに、子爵と並んでからだを沈めるんでした。

蒸氣は自然石を疊んだ正面の壁に、小さな洞穴があつて、そこから噴出してゐるんですが、轟々と凄じい響きを立て、ともすると話し聲もその音に消されがちです。

「厭れ」

珊瑚はちよいと首をのばして、岩の向ふに寝轉んで居る見知らない先客の男たち二人を仄灯りの中に覗いてみて――さう小さく子爵につぶやくんでした

「おぢいさん二人よ」

「おぢいさん？」

「おぢいさんでもないけど……でも、もう年寄れ、四十くらゐよ」

「ふむ」

子爵は自分も湯の中から頸をのばして、ちよい岩の向ふを眺めてみて

「さうせもうぢきにあがるでせう。それまでおさなしく辛抱……」

珊瑚は艶かしい眼でちよいと子爵を見て、何かしら挑む樣に微笑むんです。

「何を辛抱するの？」

「何をツて」

と、子爵は仄暗い湯の中で、不意に珊瑚の指をさつて

「つまり、禮儀作法を守らなければいけないツてことです」

「あたくし禮儀作法をいつだつて守つてるわよ」

「お父樣やお母さまの前ではね」

「あらどこでも守つてるわよ」

「私の前では？」

「……」

湯氣に温まつて喩や頬に血色を浮べ、秘密ツぽく子爵を見て微笑んだ珊瑚の指をさつて――輕くそれを子爵は自分の方へ引ツ張るんでした。

「もツとこつちへいらツしやい」

「なアに？」

「私の膝にかけてごらんなさい」

「だつて……」

「重い？」

「なかなか重い……」

「厭。擽つたい、この手……」

「ぢツとしてらツしやい……何かあの二人で話してるから」

「これはなアに？」

珊瑚は眼を閉ぢたまゝ忍び笑ひをするんです。

灯りの仄暗い蒸氣風呂の中は、蒸氣の噴騰する音が轟々と響いて居るだけで、例の岩陰に寝轉んで熱心にさツきから何か話合つて居る男たち二人の聲も、殆ど聽きとれないくらゐです。

珊瑚がふと睫毛をあげて子爵を仰ぎ、湯の中で裸の足を急にすぼめて「厭な奴須さん！」と小さく

つぶやいた時、ふと子爵の耳に男たちの會話のきれツぱしが飛込んで來るんでした。

「寒川の奴よろしく今頃はお藥をせしめてアがるだらうな。畜生」

思ひがけない鉢巻の聲です。さう云へば――相手の男も艶屋の瘤太にそツくり。

## 柳壇

『根氣』　高橋月南選

根氣よく通ふたあげく舌出され　大連　哥蛙
仲介の根氣へ娘やると決め　大連　彌生
根氣よく働いてさうく人になり　大連　柴田幽静
根氣よい手紙を娘もてあまし　遼陽　稲荷緋呂美
根氣よく通ふ女給の赤い舌　旅順　無瀬井庵
拂つても拂つても來る支那乞食　大連　一碧
春の空根氣に運ぶ花の蜜
蟻の塔根氣の築く業を見せ
根氣よくつんだ萬里の城の跡
根氣よく育て上げたる母の愛　大連　實相
根氣よく積んで見あぐる記念塔　大連　加藤比良松
雨だれの根氣が石にあなをあけ
打ちよせる波の根氣でかこがされ　大連　文甲

## 新刊紹介

▲版畫の手ほどき（旭正秀氏著）木版をはじめエッチング、石版、モノタイプ版、リーカット、合羽版、拓本摺、手版及びその他の應用版畫に就いてその特長と技法が懇切に初心者にわかり易く圖解と共に平易に解説されてあるから版畫に志す者にとつて好適な手引書である（定價二圓博文館發行）

▲海外經濟事情（第七號）本邦製帽子セルロイド製品陶磁器等需要狀況並販路增進策（廣東、カナダ）織續、開原地方五年末經濟外狀況、ドイツ時計工業近況聯邦の措置其他（價二十錢外務省通商局編纂）

## けふの放送

大連 JQAK

三月五日午後六時五十分▲ニュース、以下内地中繼（六時五十八分）▲常磐津（積特山胡蝶之羽翻）淨瑠璃常磐津於喜奈、同同和歌代、同同花之輔、三味線同同和歌翁、同同和歌壽々、▲浪花節木村重友、▲ニュース日本碁院春期東西大手合戰績、以下大連放送局より▲ラヂオ體操▲職業紹介事項▲料理獻立▲天氣豫報

## 滿日勝繼碁戰

第三十回　（滿田氏一回勝二回目）　三子　初段　滿田俊介氏　井上太市氏

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

一六一カ五　一六二ト十八　一六三リ六
一六五リ十九　一六六ト十九　一六七ヌ十八
一六九ソ一　一七〇ソ三　一七一ツ六
一六四チ十九　一六八イ十一

▲清水三段講評　本局滿田氏の出來殊に麗しく百五十二手を以ては無論百六十九に下られはいけないのを見落され白に百七十一と打たれては又如何ともせんすべなし　百七十一手終り井上氏中押勝

—【9】—